

基本計画書

基本計画書

基本計画										
事項	記入欄								備考	
計画の区分	大学の収容定員に係る学則変更									
フリガナ者	ガッコウホウジン アイチイカダイガク 学校法人 愛知医科大学									
フリガナ大学の名称	アイチイカダイガク 愛知医科大学									
大学本部の位置	愛知県長久手市岩作雁又1番地1									
大学の目的	地域社会に奉仕できる医師及び医療をよりよく発展向上させるための医学指導者を養成すること。									
新設学部等の目的	医師不足が深刻な状況にあることから、愛知県と連携して、地域医療等に従事する明確な意思をもった医師を養成するため、入学定員及び収容定員を10名増員する。									
新設学部等の概要	新設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位	学位の分野	開設時期及び開設年次	所在地	医学部医学科の今回の10名の入学定員の増員は、令和7年度のみの臨時定員である。また、医学部医学科の令和6年度における収容定員は690名である。 
	医学部 医学科	6年	115(105)	—	640(630)	学士(医学)	医学関係	令和7年4月第1年次	愛知県長久手市岩作雁又1番地1	
	看護学部 看護学科	4年	100	—	400	学士(看護学)	保健衛生学関係	平成12年4月第1年次	同上	
	計		215(205)	—	1,040(1,030)					
同一設置者内における変更状況(定員の移行、名称の変更等)	該当なし									
教育課程	新設学部等の名称	開設する授業科目の総数					卒業要件単位数			
	—	講義	演習	実験・実習	計	—	—	—	—	
学部等の名称	基幹教員					助手	基幹教員以外の教員(助手を除く)			
	教授	准教授	講師	助教	計					
新設	医学部 医学科	54人(54)	74人(74)	20人(20)	10人(10)	158人(158)	32人(32)	560人(560)		
	a. 基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって、主要授業科目を担当するもの	54(54)	74(74)	20(20)	10(10)	158(158)				
	b. 基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの(aに該当する者を除く)	(—)	(—)	(—)	(—)	(—)				
	小計(a~b)	54(54)	74(74)	20(20)	10(10)	158(158)				
	c. 基幹教員のうち、専ら当該大学の教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの(a又はbに該当する者を除く)	(—)	(—)	(—)	(—)	(—)				
	d. 基幹教員のうち、専ら当該大学の教育研究に従事する者以外の者又は当該大学の教育研究に従事し、かつ専ら当該大学の複数の学部等で教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの(a、b又はcに該当する者を除く)	(—)	(—)	(—)	(—)	(—)				
	計(a~d)	54(54)	74(74)	20(20)	10(10)	158(158)				
	看護学部 看護学科	10(10)	15(15)	6(6)	12(12)	44(44)	—(—)	38(38)		
	a. 基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって、主要授業科目を担当するもの	10(10)	15(15)	6(6)	12(12)	44(44)				
	b. 基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの(aに該当する者を除く)	(—)	(—)	(—)	(—)	(—)				
小計(a~b)	10(10)	15(15)	6(6)	12(12)	44(44)					
c. 基幹教員のうち、専ら当該大学の教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの(a又はbに該当する者を除く)	(—)	(—)	(—)	(—)	(—)					
d. 基幹教員のうち、専ら当該大学の教育研究に従事する者以外の者又は当該大学の教育研究に従事し、かつ専ら当該大学の複数の学部等で教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの(a、b又はcに該当する者を除く)	(—)	(—)	(—)	(—)	(—)					
計(a~d)	10(10)	15(15)	6(6)	12(12)	44(44)					
計	64(64)	89(89)	26(26)	22(22)	202(202)	32(32)	598(598)			

既	該当なし						(-)	(-)	大学設置基準別表第一イに定める 基幹教員数の 四分の三の数 〇〇人
	a. 基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事 する者であって、主要授業科目を担当するもの	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	大学設置基準別表第一イに定める 基幹教員数の 四分の三の数 〇〇人		
	b. 基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事 する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当 するもの(aに該当する者を除く)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)			
	小計(a~b)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)			
	c. 基幹教員のうち、専ら当該大学の教育研究に従事す る者であって、年間8単位以上の授業科目を担当す るもの(a又はbに該当する者を除く)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)			
	d. 基幹教員のうち、専ら当該大学の教育研究に従事す る者以外の者又は当該大学の教育研究に従事し、か つ専ら当該大学の複数の学部等で教育研究に従事す る者であって、年間8単位以上の授業科目を担当 するもの(a、b又はcに該当する者を除く)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)			
	計(a~d)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)			
設	該当なし							(-)	(-)
a. 基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事 する者であって、主要授業科目を担当するもの	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	大学設置基準別表第一イに定める 基幹教員数の 四分の三の数 〇〇人			
b. 基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事 する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当 するもの(aに該当する者を除く)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)				
小計(a~b)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)				
c. 基幹教員のうち、専ら当該大学の教育研究に従事す る者であって、年間8単位以上の授業科目を担当す るもの(a又はbに該当する者を除く)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)				
d. 基幹教員のうち、専ら当該大学の教育研究に従事す る者以外の者又は当該大学の教育研究に従事し、か つ専ら当該大学の複数の学部等で教育研究に従事す る者であって、年間8単位以上の授業科目を担当 するもの(a、b又はcに該当する者を除く)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)				
計(a~d)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)				
分	計						(-)	(-)	
合 計		64 (64)	89 (89)	26 (26)	22 (22)	202 (202)	32 (32)	598 (598)	
職 種		専 属			そ の 他			計	
事 務 員		282 (282)			52 (52)		334 (334)		
技 術 員		37 (37)			5 (5)		42 (42)		
図 書 館 員		2 (2)			- (-)		2 (2)		
そ の 他 の 職 員		1,776 (1776)			304 (304)		2,080 (2080)		
指 導 補 助 者		- (-)			37 (37)		37 (37)		
計		2,097 (2097)			398 (398)		2,495 (2495)		
校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用		計			
	校 舎 敷 地	102,472.31㎡	0㎡	0㎡		102,472.31㎡			
	そ の 他	67,267.42㎡	0㎡	0㎡		67,267.42㎡			
	合 計	169,739.73㎡	0㎡	0㎡		169,739.73㎡			
校 舎	専 用	65470.73㎡	0㎡	0㎡		65470.73㎡			
	(65,740.73㎡)	(0㎡)	(0㎡)	(0㎡)		(65,740.73㎡)			
教 室 ・ 教 員 研 究 室		教 室	112室	教 員 研 究 室		265室	大学全体		
図 書 ・ 設 備	新設学部等の名称	図書 〔うち外国書〕		学術雑誌 〔うち外国書〕		機械・器具	標本		
		冊	電子図書 〔うち外国書〕	種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	点	点		
	大学全体	103,374 [24,010] (103,374 [24,010])	8,789 [43] (8,789 [43])	5,013 [2,888] (4,572 [2,888])	4,572 [2,888] (4,572 [2,888])	5304 (5304)	423 (423)		
	計	103,374 [24,010] (103,374 [24,010])	8,789 [43] (8,789 [43])	5,013 [2,888] (4,572 [2,888])	4,572 [2,888] (4,572 [2,888])	5304 (5304)	423 (423)		
ス ポー ツ 施 設 等	ス ポー ツ 施 設		講 堂		厚 生 補 導 施 設				
	15,451.93㎡		827㎡		3,352.49㎡		大学全体		

経費の見積り及び維持方法の概要	区分	開設前年度		第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次	図書購入費には、電子ジャーナル・データベースの整備（電子リソース管理を含む）を含む。
		教員1人当り研究費等		302千円	302千円	302千円	302千円	305千円	305千円	
		共同研究費等		702,890千円	702,890千円	702,890千円	702,890千円	702,890千円	702,890千円	
		図書購入費		183,250千円	186,809千円	186,809千円	186,809千円	186,809千円	186,809千円	
設備購入費		306,797千円	305,000千円	305,000千円	305,000千円	305,000千円	305,000千円	305,000千円		
学生1人当り納付金			第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次		
	医学部		8,200千円	5,200千円	5,200千円	5,200千円	5,200千円	5,200千円		
	看護学部		1,670千円	1,520千円	1,520千円	1,520千円	—千円	—千円		
学生納付金以外の維持方法の概要		医療収入、補助金収入、寄付金収入等								
大学等の名称 愛知医科大学										
既設大学等の状況	学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	収容定員充足率	開設年度	所在地	
	医学部 医学科	6	115	—	690	学士(医学)	1.03	昭和47年度	愛知県長久手市岩作雁又1番地1	
	看護学部 看護学科	4	100	—	400	学士(看護学)	1.11	平成12年度		
	医学研究科						0.86	昭和55年度		
	基礎医学系専攻	4	13	—	52	博士(医学)	0.51			
	臨床医学系専攻	4	17	—	68	博士(医学)	1.13			
	看護学研究科	2	15	—	30	修士(看護学)	1.10	平成16年度		
附属施設の概要										
		名称	目的	所在地	設置年月	規模等				
		附属病院 (C棟) (D棟) (中央棟) (救急・災害管理棟)	医療及び医学研究	愛知県長久手市岩作雁又1番地1	昭和57年1月 昭和63年4月 平成25年12月 令和6年2月	114,882.73㎡ (16,929.68㎡) (11,326.03㎡) (85,755.82㎡) (871.20㎡)				
		総合学術情報センター (図書館部門)	医学教育の充実	同上	昭和48年4月 (平成17年9月)	2,262.0㎡				
		総合学術情報センター (情報基盤部門)	同上	同上	昭和56年4月 (平成11年9月)	264.0㎡				
		運動療育センター	同上	同上	昭和62年10月	3,544.18㎡				
		加齢医科学研究所	同上	同上	昭和58年4月	736.04㎡				
		分子医科学研究所	同上	同上	昭和63年4月	801.93㎡				
		産業保健科学センター	同上	同上	平成5年6月	28.28㎡				
		医学教育センター	同上	同上	平成16年4月	302.75㎡				
		総合医学研究機構	同上	同上	平成22年4月	3,905.64㎡				
		災害医療研究センター	同上	同上	平成26年11月	84.84㎡				
		国際交流センター	同上	同上	平成27年4月	87.54㎡				
		シミュレーションセンター	同上	同上	平成27年4月	581.14㎡				
		研究創出支援センター	同上	同上	平成28年4月	547.07㎡				
		眼科クリニック MiRAI	医療及び医学研究	名古屋市中区東桜二丁目12番1号	昭和58年4月	2,714.63㎡				
		メディカルセンター	同上	岡崎市仁木町字川越17番地33	令和3年4月	16,792.38㎡				

(注)

- 1 共同学科の認可の申請及び届出の場合、「計画の区分」、「新設学部等の目的」、「新設学部等の概要」、「教育課程」及び「新設分」の欄に記入せず、斜線を引くこと。
- 2 「新設分」及び「既設分」の備考の「大学設置基準別表第一」については、専門職大学にあっては「専門職大学設置基準別表第一」、短期大学にあっては「短期大学設置基準別表第一」、専門職短期大学にあっては「専門職短期大学設置基準別表第一」にそれぞれ読み替えて作成すること。
- 3 「既設分」については、共同学科等に係る数を除いたものとする。
- 4 私立の大学の学部又は短期大学の学科の収容定員に係る学則の変更の届出を行うおとする場合は、「教育課程」、「教室・教員研究室」、「図書・設備」及び「スポーツ施設等」の欄に記入せず、斜線を引くこと。
- 5 大学の廃止の認可の申請又は届出を行うおとする場合は、「教育課程」、「校地等」、「校舎」、「教室・教員研究室」、「図書・設備」、「スポーツ施設等」及び「経費の見積り及び維持方法の概要」の欄に記入せず、斜線を引くこと。
- 6 「教育課程」の欄の「実験・実習」には、実技も含むこと。
- 7 空欄には、「—」又は「該当なし」と記入すること。

補足資料（組織の移行表）

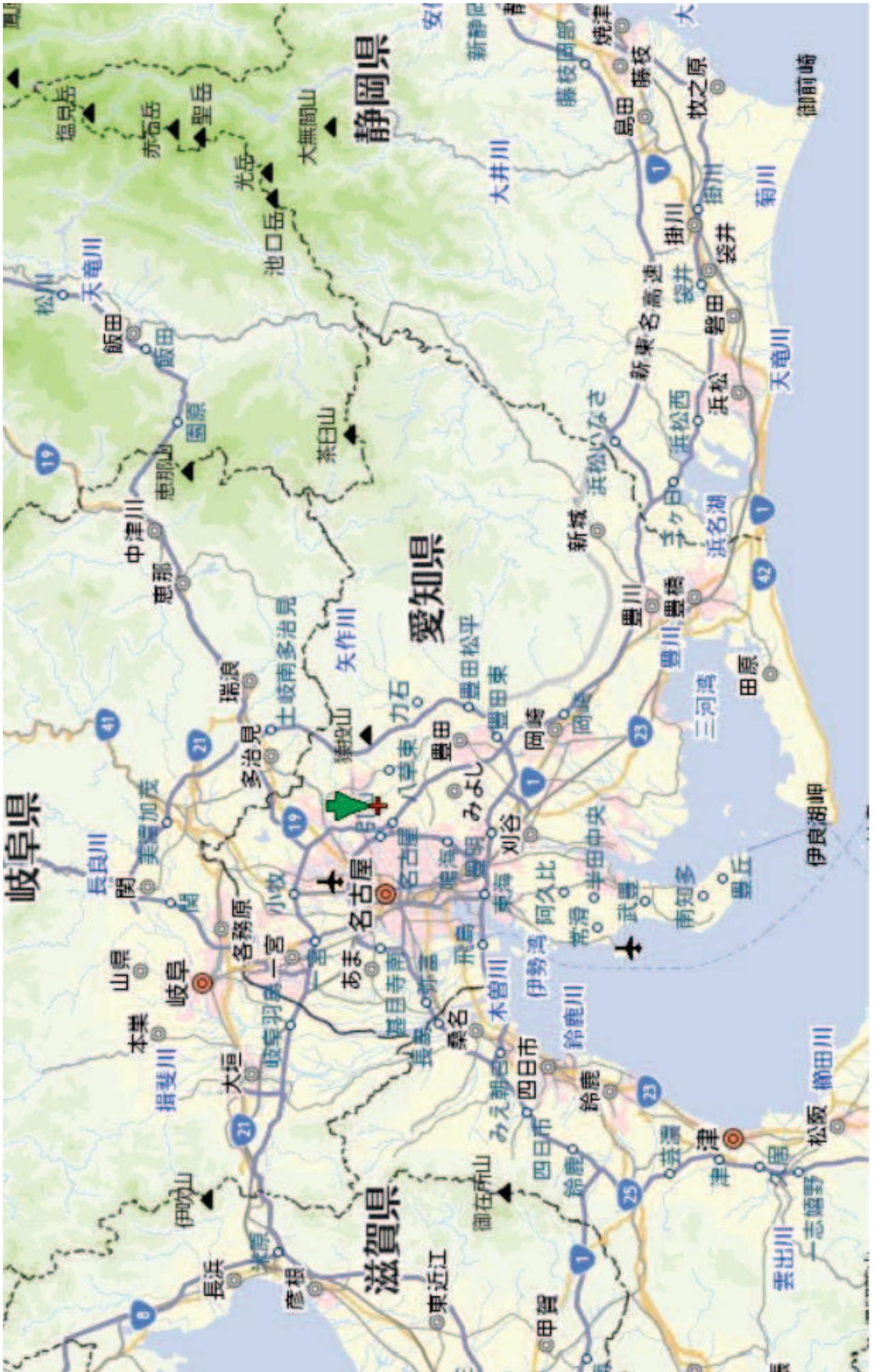
学校法人愛知医科大学 設置認可等に関わる組織の移行表

令和6年度	入学 定員	編入学 定員	収容 定員	令和7年度	入学 定員	編入学 定員	収容 定員	変更の事由
愛知医科大学				愛知医科大学				
医学部				医学部				
医学科	115	-	640	医学科	115	-	640	定員変更(10)
看護学部				看護学部				
看護学科	100	-	400	看護学科	100	-	400	
計	215		1,040	計	215		1,040	
愛知医科大学大学院				愛知医科大学大学院				
医学研究科				医学研究科				
基礎医学専攻(博士課程)	13	-	52	基礎医学専攻(博士課程)	13	-	52	
臨床医学専攻(博士課程)	17	-	68	臨床医学専攻(博士課程)	17	-	68	
看護学研究科				看護学研究科				
看護学専攻(修士課程)	15	-	30	看護学専攻(修士課程)	15	-	30	
計	45		150	計	45		150	

※令和6年度で終了となる入学定員増の再申請(令和7年度のための臨時定員増)

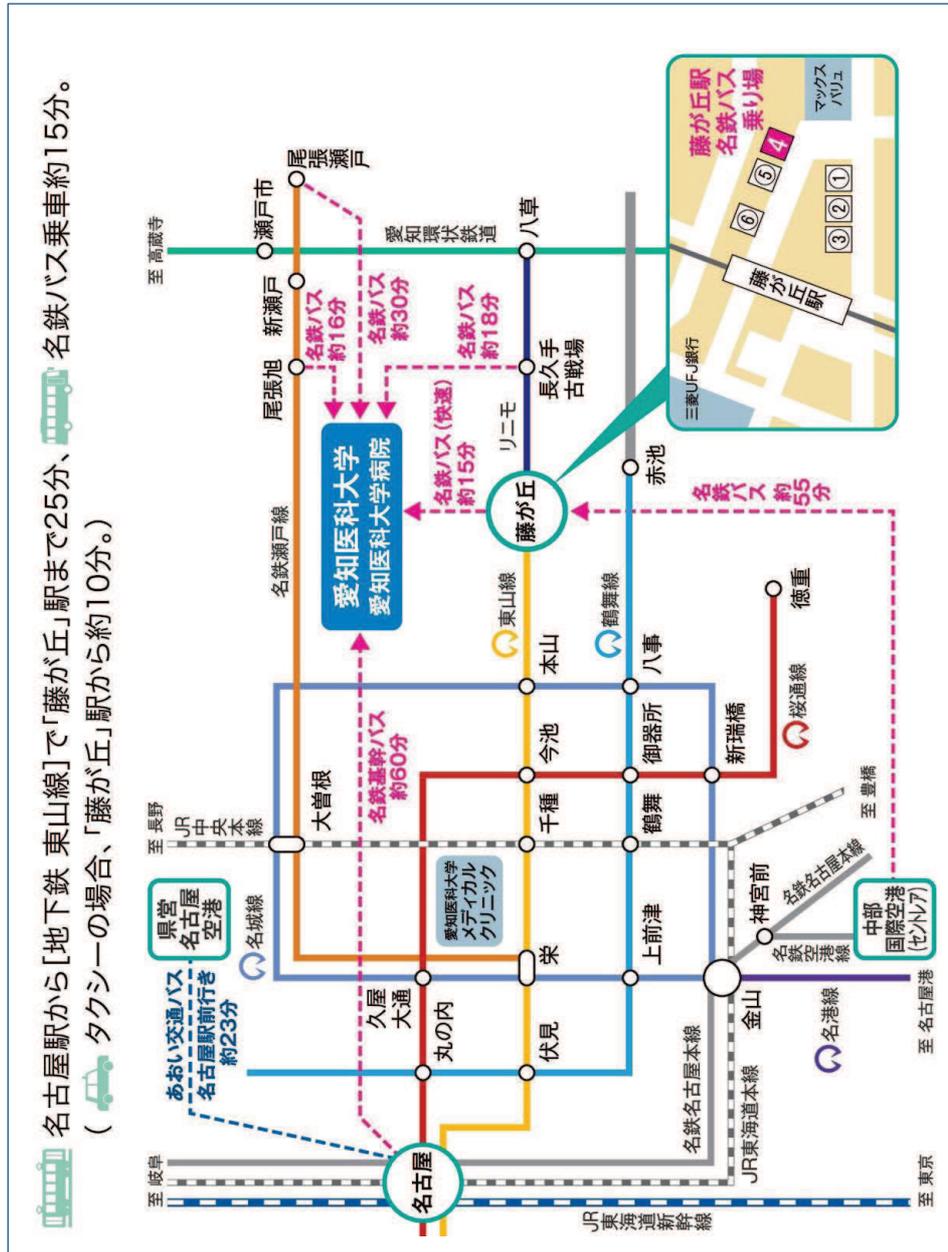
校地校舎等の図面

都道府県内における位置関係の図面



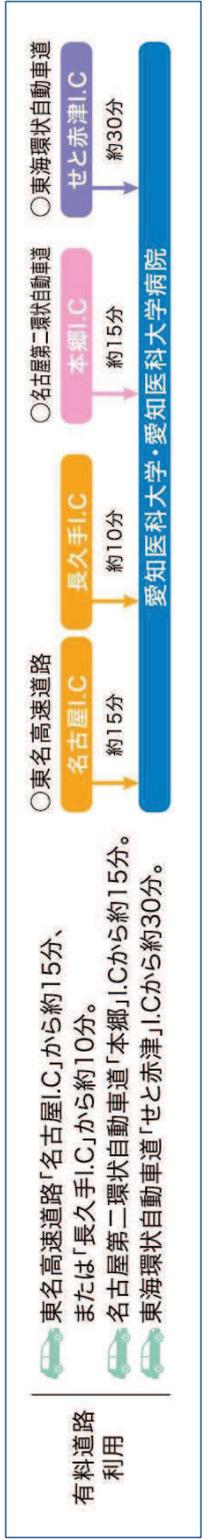
最寄り駅からの距離や交通機関がわかる図面

○公共交通機関によるアクセス



名古屋駅から[地下鉄 東山線]で「藤が丘」駅まで25分、 名鉄バス乗車約15分。
 (タクシーの場合、「藤が丘」駅から約10分。)

○自動車によるアクセス



学則

愛知医科大学学則

第1章 総則

(目的)

第1条 愛知医科大学（以下「本学」という。）は、教育基本法（平成18年法律第120号）及び学校教育法（昭和22年法律第26号）に基づき、道徳的能力と社会的有用性を基盤とし、新しい医学・看護学の知識及び技術をもつて社会に奉仕する医師及び看護職者を育成するとともに、深く学術を研究し、医学・看護学の発展向上に貢献することを目的とする。

(自己点検及び評価)

第1条の2 本学は、教育研究医療水準の向上を図り、前条の目的及び社会的使命を達成するため、教育研究医療活動等の状況について自ら点検及び評価を行うものとする。

2 自己点検及び評価に関し必要な事項は、学長が定める。

(学部及び学科並びにその目的)

第2条 本学に次の学部及び学科を置く。

医学部 医学科

看護学部 看護学科

2 各学部の教育研究上の目的は、次のとおりとする。

(1) 医学部は、プロフェッショナルリズムを備え、地域社会の様々な人々と良好な関係を築きながら、質の高い医療が提供でき、また、幅広い医学知識、高い診療技能及び科学的探究心を持った医師を育成すること。

(2) 看護学部は、幅広い豊かな人間性を備え、看護の専門知識に基づく高度な判断力・実践力・指導力をもち、看護学の発展向上に寄与する看護職者を育成すること。

第2条の2 削除

(大学院)

第2条の3 本学に大学院を置く。

2 大学院に関し必要な事項は、別に定める。

(学年)

第3条 学年は、4月1日に始まり、翌年3月31日に終わる。

(学期)

第4条 学年を次の学期に分ける。

(1) 医学部 前学期 4月1日から10月15日まで

後学期 10月16日から3月31日まで

(2) 看護学部 前学期 4月1日から9月30日まで

後学期 10月1日から3月31日まで

2 前項の規定にかかわらず、特に必要な場合は、教授会の議を経て、前学期の終了日及び後学期の開始日を変更することができる。

(休業日)

第5条 休業日（授業を行わない日）は、次の各号のとおりとする。

(1) 日曜日

- (2) 土曜日
- (3) 国民の祝日に関する法律（昭和23年法律第178号）に規定する休日
- (4) 開学記念日 11月3日
- (5) 春季休業 3月21日から4月3日まで
- (6) 夏季休業 医学部においては7月18日から9月4日まで、看護学部においては8月1日から9月30日まで
- (7) 冬季休業 12月25日から翌年1月7日まで

2 前項の規定にかかわらず、特に必要な場合は、教授会の議を経て、休業日を変更し、又は臨時に休業日を定めることができる。

(修業年限)

第6条 修業年限は、次のとおりとする。

医学部 6年（2年の前期課程、2年の中期課程及び2年の後期課程）

看護学部 4年（2年の前期課程と2年の後期課程）

(在学年限)

第7条 在学年限は、次の年限を超えることができない。

医学部 前期課程、中期課程及び後期課程のそれぞれにおいて4年

看護学部 前期課程及び後期課程のそれぞれにおいて4年

(収容定員)

第8条 収容定員は、次表のとおりとする。

区分	入学定員	収容定員
医学部 医学科	105人	630人
看護学部 看護学科	100人	400人

(職員組織)

第9条 本学に次に掲げる職員を置く。

- (1) 学長
- (2) 教授、准教授、講師及び助教
- (3) 事務職員及び技術職員
- (4) その他の職員

2 本学に副学長を置くことができる。

3 学部に学部長を置く。

4 前3項の職員の任用等に関し必要な事項は、別に定める。

(大学運営審議会)

第9条の2 本学に、本学の重要な事項を審議するため、大学運営審議会（以下「審議会」という。）を置く。

2 審議会は、学長及び学長が別に定める者をもつて構成する。

3 審議会の運営等に関し必要な事項は、学長が定める。

(教授会)

第10条 各学部に、教授会を置く。

2 教授会は、当該学部及びその附属施設の専任の教授をもつて構成する。

3 教授会には、当該学部及びその附属施設の専任の准教授又は講師を加えることができる。

4 教授会を置かない組織の専任の教授は、第1項に掲げるいずれかの教授会に所

属するものとする。

5 教授会は、学長が次に掲げる事項について決定を行うに当たり意見を述べるものとする。

(1) 学生の入学及び卒業

(2) 学位の授与

(3) 前2号に掲げるもののほか、教育研究に関する重要な事項で、教授会の意見を聴くことが必要なものとして学長が定めるもの

6 前項第3号の事項を学長が定めるにあたっては、教授会の意見を聴いて参酌するよう努めるものとする。

7 教授会は、第5項に規定するもののほか、学長及び学部長（以下、この項において「学長等」という。）がつかさどる教育研究に関する事項について審議し、及び学長等の求めに応じて意見を述べることができる。

8 教授会の運営等に関し必要な事項は、教授会の議を経て、学部長が定める。
(部門等)

第11条 医学部に基礎科学部門、基礎医学部門及び臨床医学部門を置く。

2 看護学部専門基礎科学系及び看護専門科学系を置く。

(学科目及び講座)

第11条の2 医学部に学科目及び講座を置く。

2 前項の学科目及び講座の種類は、別に定める。

(事務局等)

第12条 本学に事務局を置く。

2 医学部に教務部及び学生部を置く。

3 看護学部専門基礎科学系及び看護専門科学系に教務学生部を置く。

4 事務局に事務局長を、教務部に教務部長を、学生部に学生部長を、教務学生部に教務学生部長を置く。

5 事務局長は事務職員を、教務部長、学生部長及び教務学生部長はそれぞれ当該学部の教授をもつて充てる。

6 第4項の職員の任用等に関し必要な事項は、別に定める。

(附属施設)

第13条 本学に次に掲げる附属施設を置く。

(1) 総合学術情報センター

(2) 研究創出支援センター

(3) 災害医療研究センター

(4) 国際交流センター

(5) アドミッションセンター

2 附属施設にそれぞれ長を置き、原則として、本学の教授をもつて充てる。

3 附属施設に関し必要な事項は、別に定める。

第13条の2 医学部に次に掲げる附属施設を置く。

(1) 病院

(2) メディカルセンター

(3) 眼科クリニックM i R A I

(4) 産業保健科学センター

- (5) 運動療育センター
- (6) 薬毒物分析センター
- (7) 医学教育センター
- (8) シミュレーションセンター
- (9) 総合医学研究機構

- 2 眼科クリニックM i R A I は，病院に附置する。
- 3 附属施設にそれぞれ長を置き，原則として，医学部又は第10条第4項の規定により医学部教授会に所属することとなる教授をもつて充てる。
- 4 附属施設に関し必要な事項は，別に定める。

第13条の3 看護学部看護実践研究センターを置く。

- 2 看護実践研究センターに長を置き，看護学部の教授をもつて充てる。
- 3 看護実践研究センターに関し必要な事項は，別に定める。

(研究所)

第13条の4 本学に次の研究所を置く。

- (1) 加齢医科学研究所
- (2) 分子医科学研究所

- 2 研究所に長を置き，本学の教授をもつて充てる。
- 3 研究所に関し必要な事項は，別に定める。

(事務組織)

第14条 第12条から前条までに規定する事務局，教務部，学生部，教務学生部，附属施設及び研究所の事務組織及び事務分掌については，別に定める。

(課外活動)

第15条 学生の課外活動に関し必要な事項は，学長が定める。

第2章 入学

(入学期)

第16条 入学期は，毎学年の始めとする。

(入学資格)

第17条 本学に入学することができる者は，学校教育法第90条の規定により大学の入学資格を有する者とする。

(入学出願手続)

第18条 前条の規定により入学を志願する者は，入学願書に所定の入学検定料及び別に指定する書類を添えて，本学に提出しなければならない。

- 2 入学願書の受付期間は，別に定める。

(入学許可)

第19条 学長は，前条に規定する入学志願者につき当該学部の教授会の議を経て，合格者を決定し，入学を許可すべき者を定める。

(入学手続)

第20条 前条の合格者は，指定の期日までに，所定の書類を提出し，かつ，医学部合格者においては入学金及び教育充実費（初年度）並びに前学期分の授業料及び施設維持費（初年度）を，看護学部合格者においては入学金，教育充実費（初年度）及び実験実習費（初年度）並びに前学期分の授業料を納付しなければならない。

2 正当な理由なく前項の手続きをしない者は、入学を許可しない。

(再入学等)

第21条 次の各号の一に該当する者は、当該学部の教授会の議を経て、学長が選考の上、入学を許可することができる。

(1) 第27条の規定により本学を退学した者で、本学に再入学を志願するもの。ただし、退学後2年を超えている者は除く。

(2) 他の大学の医学部医学科又は看護学系の学部若しくは学科等の学生で、当該大学の学長の承認を得て本学の同種の学部に転入学を志願するもの

(3) 他の大学を卒業し、又は中途退学した者で、本学に編入学を志願するもの

(4) 短期大学の看護学系の学科等又は専修学校の看護師養成専門課程(いずれも修業年限が3年以上であることその他文部科学大臣の定める基準を満たすものに限る。)を修了した者で、本学の看護学部に編入学を志願するもの

(再入学等の入学出願手続等)

第22条 前条の規定により入学を志願する者及び入学を許可された者に係る入学出願手続、選考方法、入学手続等については、教授会の議を経て、学部長が定める。

2 前条の規定により入学した者の修業年限、在学年限、休学期間及び既修得単位の認定については、教授会の議を経て、学部長が定める。

(入学前の既修得単位の取扱い)

第22条の2 他の大学を卒業し又は退学した者及び短期大学又は高等専門学校を卒業した者で、本学の看護学部の第1学年次に入学したものの既修得単位(授業時間の履修をもつて単位の修得に代える授業科目については、当該授業時間数)については、教育上有益と認める場合は、本学の看護学部において修得したものとみなすことができる。

2 前項の規定による既修得単位の認定は、60単位(授業科目の履修をもつて単位の修得に代える授業科目については、60単位に相当する授業時間数)を超えない範囲で、看護学部教授会の議を経て、看護学部長が行う。

(転学部)

第23条 転学部を希望する者がいるときは、当該学部において選考の上、転学部を許可することができる。

(留学)

第24条 外国の大学へ留学を志願する者がいるときは、当該大学との合意の上、学長は留学を許可することができる。

2 前項の規定により留学を許可された者の修得単位の認定は、60単位を超えない範囲で、学長が行う。

第3章 休学及び復学

(休学)

第25条 学生が、傷病その他の事由により3月以上修学を休止しようとするときは、所定の様式の休学願い書に学校医若しくは本学の指定する医療機関の医師の診断書又は詳細な理由書を添え、学長に休学を願い出て、その許可を受けなければならない。

2 休学中の学生が、引き続き休学をしようとするときは、休学期間の満了する前

に改めて前項の願い出をし、その許可を受けなければならない。

- 3 学長は、前2項により提出された願い書について、その事由が相当であると認めた場合は、その期間を定め、これを許可する。ただし、休学を許可する期間は、当該年度を超えて定めないものとする。
- 4 学長は、傷病その他の事由のため修学することが適当でないとする者に対しては、期間を定め、休学を命ずることができる。
- 5 休学期間は、通算して2年を超えることができない。
- 6 休学期間は、第7条の在学年限に算入しない。
- 7 前各項に定めるもののほか、学生の休学に関し必要な事項は、学長が定める。

(復学)

第26条 前条第3項により休学を許可された者は、休学期間が満了したときは、所定の様式による復学届け書を学長に提出して復学するものとする。

- 2 前条第3項により休学を許可された者が休学期間中にその事由がやんだときは、所定の様式による復学願い書を提出し、学長の許可を得て復学することができる。
- 3 前条第4項により休学を命ぜられた者が、復学しようとするときは、診断書又は事由書を添付して所定の様式による復学願い書を提出し、学長の許可を受けなければならない。
- 4 前2項により提出された願い書について、学長は、その事由が相当であると認めた場合は、これを許可する。

第4章 退学、転学及び除籍

(退学)

第27条 学生が、退学しようとするときは、退学願い書にその事由を詳記して学長に願い出て、その許可を受けなければならない。ただし、傷病による場合には、医師の診断書を添付しなければならない。

- 2 前項により提出された願い書について、学長は、その事由が相当であると認めた場合は、これを許可する。

(転学)

第28条 学生が、他の大学に転学しようとするときは、所定の様式の転学願い書を提出し、学長の許可を受けなければならない。

(除籍)

第29条 学生が、次の各号に掲げる事由の一に該当した場合は、学長は、学部長の意見を徴し、審議会の議を経て、除籍する。

- (1) 第7条の在学年限を超えたとき。
- (2) 傷病その他の事由により成業の見込みがないと認められるとき。
- (3) 死亡したとき。
- (4) 1年以上にわたって行方不明になり、当該学生の保証人又はその代理人からの届け出があつたとき。
- (5) 学納金の納付義務を怠り、督促を受けてもなお納入しないとき。

第5章 学納金

(学納金)

第30条 学納金は、次表のとおりとする。

学部	学納金	金額（円）	
医学部	入学金	1,500,000円	
	教育充実費	（初年度）	2,700,000円
		（2年度以降）	1,200,000円
	授業料（年額）	3,000,000円	
	施設維持費（年額）	1,000,000円	
看護学部	入学金	300,000円	
	教育充実費	（初年度）	200,000円
		（2年度以降）	300,000円
	授業料（年額）	1,000,000円	
	実験実習費	（初年度）	170,000円
（2年度以降）		220,000円	

（授業料等の額の変更）

第30条の2 授業料，実験実習費及び施設維持費の額は，在学中においても変更することがある。

（納付）

第31条 医学部における教育充実費（2年度以降），授業料及び施設維持費（2年度以降）並びに看護学部における教育充実費（2年度以降），授業料及び実験実習費（2年度以降）は，その年額を前学期分及び後学期分として等分し，前学期分は4月末日までに，後学期分は10月末日までに納付しなければならない。

2 新入生は，医学部においては授業料及び施設維持費（初年度）の後学期分を，看護学部においては授業料の後学期分を10月末日までに納付しなければならない。

（奨学制度）

第31条の2 入学試験の成績が特に優秀であつた者及び在学中の成績が優秀な学生には，学長は，学納金の一部を減免することができる。

（授業料等減免制度）

第31条の3 大学等における修学の支援に関する法律（令和元年法律第8号。次項において「法」という。）第8条第1項に規定する授業料等減免対象者として認定した学生については，入学金及び授業料の一部を減免する。

2 前項の減免の額，手続きその他必要な事項については，法及びその関係法令に定めるもののほか，学長が別に定める。

（免除）

第32条 学生が，前学期又は後学期を通じて休学を許可された場合は，当該学期分の学納金の納付について，医学部においては授業料を，看護学部においては授業料及び実験実習費を免除する。

2 学長は，前項の休学が正課中における事故等特別の理由によるものと認める場合は，当該学期分の学納金の全部を免除することができる。

（納付猶予）

第33条 学生が，災害その他の止むを得ない事由により第31条に定める納付期限までに教育充実費，授業料，実験実習費又は施設維持費を納付することが困難と認

められるときは、その前学期分又は後学期分について納付を猶予することができる。

2 前項の規定により納付の猶予の許可を受けようとする者は、事由を詳記した願い書を、第31条に定める納付期限の10日前までに、提出しなければならない。

3 前項により提出された願い書について、学長は、その事由が適当であると認められた場合は、納付の猶予を許可する。

(学納金の返還)

第34条 既に納めた学納金は、返還しない。

2 前項の規定にかかわらず、入学手続を完了した者で、所定の期日までに所定の様式の入学辞退届け書を提出し、学納金の返還を申し出た者については、入学手続時に納めた学納金のうち入学金を差し引いた額を返還する。

第6章 授業科目の履修方法及び試験等

(授業科目、単位数、年次配当及び単位の計算方法)

第35条 学生が履修すべき授業科目、単位数及び年次配当は、教授会の議を経て、学部長が定める。

2 前項に規定する単位数は、1単位の履修時間を教室内及び教室外を合わせて45時間とし、次に掲げる基準により計算する。

(1) 講義及び演習については、医学部においては15時間、看護学部においては15時間又は30時間の授業をもつて1単位とする。

(2) 実験、実習及び実技については、医学部においては30時間、看護学部においては30時間又は45時間の授業をもつて1単位とする。

3 前2項に規定する授業科目、単位数、年次配当及び単位の計算方法については、教育目的の達成のため在学中においても変更することがある。

(授業期間)

第35条の2 1年間の授業期間は、40週までとする。

(試験)

第36条 試験は、履修した授業科目について、各学期若しくは各学年ごと又はその授業科目の授業が終わった後、適当な時期にこれを行う。

2 各授業科目について、出席が3分の2に達しない学生については、受験資格を認めないことがある。

(成績の評価及び単位の認定)

第37条 試験の成績は、合格及び不合格とし、合格を分けて、優・良・可とする。

2 授業科目を履修し、その試験に合格した者には、その授業科目の単位を認定する。

3 前項の規定にかかわらず、医学部における進級を認定されなかった者の単位認定については、医学部長が定める。

(追試験)

第38条 傷病その他やむを得ない事由により受験できない者は、所定の様式の願い書にその事由を詳記して願い出なければならない。

2 前項の願い出によりその理由がやむを得ないと認められた者には、追試験を受けさせることができる。

(再試験)

第39条 試験に不合格の者には、再試験を受けさせることがある。

(進級)

第40条 医学部においては、所定の単位を修得し、かつ、所定の基準を満たした者に対し、医学部長は、教授会の議を経て、次学年次への進級を認定する。

2 看護学部においては、前期課程に修得すべき全単位を修得した者に対し、看護学部長は、教授会の議を経て、後期課程への進級を認定する。

(履修方法等の細目)

第41条 第35条から前条までに規定する履修方法、成績評価、試験、進級認定等の細目については、教授会の議を経て、学部長が定める。

第7章 卒業及び学士の学位

(卒業及び学士の学位)

第42条 医学部において第6条の修業年限以上在学し、修得すべき全単位を修得し、所定の基準を満たした者は、全課程を修了したものとする。

2 看護学部において第6条の修業年限以上在学し、修得すべき全単位を修得した者は、全課程を修了したものとする。

3 前2項による全課程の修了者に対し、学長は、当該学部の教授会の議を経て卒業を認定し、次の区分に従い、学士の学位を授与する。

(1) 医学部 学士(医学)

(2) 看護学部 学士(看護学)

第43条 削除

第8章 外国人特別学生

(入学)

第44条 外国人で第2章の規定によらないで入学を志願する者に対しては、学長は、選考の上教授会の議を経て外国人特別学生として入学を許可することができる。

(入学出願手続)

第45条 前条の規定により入学を志願する者は、次の書類を提出しなければならない。

(1) 入学願書

(2) 履歴書

(3) 外務省、在外公館または在日自国公館の推せん状

(4) その他必要と認められる書類

(履修証明)

第46条 外国人特別学生で履修した授業科目の試験に合格した者には、履修証明書を交付することができる。

(学費の徴収)

第47条 外国人特別学生の入学金、授業料等の学費の徴収に関しては、特別の事由ある場合を除き、第20条および第30条の規定を適用する。

(規定の準用)

第48条 本章に定めるもののほか、本学学生に関する規定は、外国人特別学生に準用する。

第8章の2 科目等履修生及び聴講生

(科目等履修生)

第48条の2 本学の学生以外の者で、1科目又は数科目の授業科目を履修し、単位を修得しようとする者があるときは、選考の上、科目等履修生として入学を許可することがある。

2 科目等履修生に関し必要な事項は、学長が定める。

(聴講生)

第48条の3 本学所定の授業科目のうち、1科目又は数科目を選んで聴講を志願する者があるときは、授業に支障のない限り、選考の上、聴講生として入学を許可することがある。

2 聴講生に関し必要な事項は、学長が定める。

第9章 賞罰

(表彰)

第49条 学生で他の模範となる者については、選考の上、表彰することができる。

(懲戒)

第50条 学生の懲戒については、学長は、学部長の上申により、審議会の議を経て、これを決定する。

2 前項に定めるもののほか、学生の懲戒に関し必要な事項は、審議会の議を経て学長が定める。

(懲戒の種類、要件)

第51条 懲戒の種類は、訓告、停学及び放学とする。

2 懲戒は、次の各号の一に該当する者に対して行う。

(1) 本学の規則に違反したとき。

(2) 本学の秩序を乱したとき。

(3) 本学学生として品位をけがしたとき。

(4) その他懲戒に値すると認められる行為のあつたとき。

附 則

この学則は、昭和47年4月1日から施行する。

附 則

この学則は、昭和48年4月1日に改正施行する。

附 則

この学則は、昭和50年4月1日に改正施行する。

附 則

この学則は、昭和51年4月1日に改正施行する。

附 則

この学則は、昭和52年4月1日に改正施行する。

附 則

この学則は、昭和53年4月1日に改正施行する。

附 則

この学則は、昭和54年4月1日に改正施行する。

附 則

この学則は、昭和55年4月1日に改正施行する。

附 則

この学則は、昭和55年4月24日に改正し、昭和55年4月1日から適用する。

附 則

この学則は、昭和55年9月29日に改正施行する。

附 則

この改正は、昭和56年4月1日から施行する。

附 則

- 1 この改正は、昭和57年4月1日から施行する。
- 2 第30条の規定にかかわらず、昭和56年度以前の入学生の学納金の種類及び額は、次表のとおりとする。

(円)

種類	授業料 (年額)	実験実習費 (年額)	施設維持費 (年額)
入学生			
50・51年度入学生	700,000	150,000	500,000
52年度入学生	1,000,000	300,000	500,000
53・54年度入学生	1,200,000	600,000	1,000,000
55年度入学生	1,500,000	600,000	1,200,000
56年度入学生	2,000,000	600,000	1,200,000

附 則

- 1 この改正は、昭和57年4月1日から施行する。
- 2 第3条第2項及び第35条第1項ただし書は、昭和57年度第1学年から適用する。

附 則

この改正は、昭和57年6月19日から施行する。

附 則

- 1 この改正は、昭和58年4月1日から施行する。
- 2 第7条第2項及び第25条第6項の規定は、昭和58年度入学生から適用する。

附 則

この改正は、昭和58年7月20日から施行する。

附 則

この改正は、昭和59年3月1日から施行する。

附 則

この改正は、昭和59年6月1日から施行し、昭和60年度以降の入学生に適用する。

附 則

この改正は、昭和59年7月18日から施行する。

附 則

- 1 この改正は、昭和60年4月1日から施行する。
- 2 別表第5は、昭和60年度第1学年から適用する。

附 則

この改正は、昭和60年7月17日から施行する。

附 則

この改正は、昭和61年5月28日から施行する。

附 則

この改正は、昭和62年4月1日から施行する。

附 則

この改正は、昭和62年10月1日から施行する。

附 則

この改正は、昭和63年4月1日から施行する。

附 則

この改正は、平成元年4月1日から施行する。ただし、第30条の表中入学金の改正については、平成元年度の入学生については、適用しない。

附 則

この改正は、平成2年10月1日から施行する。

附 則

この学則は、平成3年4月1日から施行する。

附 則

1 この学則は、平成3年10月1日から施行する。

2 第30条及び昭和57年4月1日の改正附則第2項の規定にかかわらず、平成3年度の施設維持費の年額は、次表のとおりとする。

種類	施設維持費 (年額)
入学生	
50・51年度入学生	507,500円
52年度入学生	507,500円
53・54年度入学生	1,015,000円
55年度入学生	1,218,000円
56年度入学生	1,218,000円
57年度以降の入学生	1,522,500円

附 則

この学則は、平成4年2月1日から施行する。ただし、第42条の改正規定は平成3年7月1日から適用し、別表第2の改正規定は平成4年4月1日から施行する。

附 則

この学則は、平成4年6月1日から施行する。

附 則

この学則は、平成5年6月1日から施行する。ただし、第13条第1項の改正規定は、平成5年6月16日から施行する。

附 則

この学則は、平成6年4月1日から施行する。ただし、平成5年度以前に入学を許可された者及び次表に掲げる年度に再入学、転入学又は編入学を許可され、当該年度の区分に応じた学年次に入学した者については、なお従前の例による。

年度	学年次
平成6年度	第2学年次から第6学年次
平成7年度	第3学年次から第6学年次
平成8年度	第4学年次から第6学年次
平成9年度	第5学年次・第6学年次
平成10年度	第6学年次

附 則

この学則は、平成7年2月1日から施行する。

附 則

この学則は、平成7年4月1日から施行する。

附 則

この学則は、平成9年4月1日から施行する。

附 則

- 1 この学則は、平成10年4月1日から施行する。
- 2 この学則による改正後の別表は、平成10年度の入学生から適用する。
- 3 平成10年度における第6学年次の学生の学納金の徴収方法、免除及び徴収猶予については、この学則による改正後の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附 則

- 1 この学則は、平成11年4月1日から施行する。
- 2 この学則による改正後の別表は、平成11年度入学生から適用する。

附 則

- 1 この学則は、平成12年4月1日から施行する。
- 2 看護学部看護学科の収容定員は、改正後の第8条の規定にかかわらず、次表のとおりとする。

年度	収容定員
平成12年度	100人
平成13年度	200人
平成14年度	300人

附 則

- 1 この学則は、平成12年4月1日から施行する。
- 2 この学則による改正後の別表第1の規定は、平成12年度入学生から適用する。

附 則

- 1 この学則は、平成13年1月6日から施行する。ただし、別表第1の改正規定は、平成13年4月1日から施行する。
- 2 この学則による改正後の別表第1の規定は、平成12年度入学生から適用する。

附 則

- 1 この学則は、平成13年4月1日から施行する。
- 2 この学則による改正後の第22条の2の規定は、平成13年度入学生から適用する。

附 則

この学則は、平成13年6月16日から施行する。

附 則

- 1 この学則中第13条の2の改正規定は平成14年1月1日から、別表第1の改正規定は平成14年4月1日から施行する。
- 2 この学則による改正後の別表第1の規定は、平成14年度医学部入学生から適用する。

附 則

この学則中第21条の改正規定は平成14年3月1日から、第13条の2の改正規定は平成14年4月1日から施行する。

附 則

この学則は、平成14年4月26日から施行する。

附 則

- 1 この学則は、平成15年4月1日から施行する。
- 2 この学則による改正後の別表第1の規定は、平成15年度医学部入学生から適用する。

附 則

- 1 この学則は、平成16年4月1日から施行する。
- 2 平成15年度以前の医学部入学生及び平成16年度に医学部の2学年次から6学年次までの学年次に指定された入学生に対する改正後の第6条、第7条、第25条第5項、第40条第1項及び別表第1の規定の適用については、別に定める。
- 3 この学則による改正後の別表第2の規定は、平成16年度看護学部入学生から適用する。

附 則

- 1 この学則は、平成16年4月1日から施行する。
- 2 愛知医科大学学則の一部を改正する学則（平成12年4月1日施行）の一部を次のように改正する。

（次のよう略）

附 則

- 1 この学則は、平成17年4月1日から施行する。
- 2 この学則による改正後の別表第2の規定は、平成17年度看護学部入学生から適用する。

附 則

この学則は、平成17年4月1日から施行する。

附 則

- 1 この学則は、平成18年4月1日から施行する。
- 2 この学則による改正後の別表第2の規定は、平成18年度看護学部入学生から適用する。

附 則

- 1 この学則は、平成18年4月1日から施行する。ただし、第30条から第31条までの改正規定及び第32条の改正規定中本文を改める部分は、平成19年4月1日から施行する。
- 2 この学則による改正後の別表第1の規定は、平成18年度医学部入学生から適用する。

- 3 この学則による改正後の第18条、第20条、第30条から第31条まで及び第32条第1項の規定は、平成19年度入学生及び平成19年度入学を志願する者から適用する。

附 則

この学則は、平成19年4月1日から施行する。

附 則

- 1 この学則は、平成19年4月1日から施行する。
- 2 この学則による改正後の別表第1の規定は、平成19年度医学部入学生から適用する。

附 則

この学則は、平成20年4月1日から施行する。

附 則

この学則は、平成20年4月1日から施行する。

附 則

この学則は、平成20年5月26日から施行する。

附 則

- 1 この学則は、平成21年4月1日から施行する。
- 2 医学部医学科の収容定員は、改正後の第8条の規定にかかわらず、次表のとおりとする。

年度	収容定員
平成21年度	605人
平成22年度	610人
平成23年度	615人

附 則

この学則は、平成22年4月1日から施行する。

附 則

- 1 この学則は、平成24年4月1日から施行する。
- 2 医学部医学科の収容定員は、改正後の第8条の規定にかかわらず、次表のとおりとする。

年度	収容定員
平成24年度	625人
平成25年度	635人
平成26年度	645人

- 3 愛知医科大学学則の一部を改正する学則（平成21年4月1日施行）の一部を次のように改正する。

（次のよう略）

附 則

- 1 この学則は、平成24年4月1日から施行する。
- 2 愛知医科大学学則の一部を改正する学則（平成12年4月1日施行）の一部を次のように改正する。

（次のよう略）

附 則

- 1 この学則は、平成27年4月1日から施行する。
- 2 医学部医学科の収容定員は、改正後の第8条の規定にかかわらず、次表のとおりとする。

年度	収容定員
平成27年度	653人

- 3 愛知医科大学学則の一部を改正する学則（平成24年4月1日施行）の一部を次のように改正する。

（次のよう略）

附 則

この学則は、平成26年11月1日から施行する。

附 則

- 1 この学則は、平成27年4月1日から施行する。
- 2 愛知医科大学学則の一部を改正する学則（平成12年4月1日施行）の一部を次のように改正する。
（次のよう略）
- 3 愛知医科大学学則の一部を改正する学則（平成24年4月1日施行）の一部を次のように改正する。
（次のよう略）
- 4 愛知医科大学学則の一部を改正する学則（平成26年11月1日施行）の一部を次のように改正する。
（次のよう略）

附 則

この学則は、平成27年4月1日から施行する。

附 則

- 1 この学則は、平成28年4月1日から施行する。
- 2 医学部医学科の収容定員は、改正後の第8条の規定にかかわらず、次表のとおりとする。

年度	収容定員
平成28年度	663人
平成29年度	673人
平成30年度	678人
平成31年度	683人

- 3 愛知医科大学学則の一部を改正する学則（平成27年4月1日施行）の一部を次のように改正する。
（次のよう略）

附 則

この学則は、平成28年4月1日から施行する。

附 則

- 1 この学則は、平成28年7月11日から施行する。
- 2 この学則による改正後の第30条の規定は、平成29年度医学部入学生から適用する。

附 則

この学則は、平成29年4月1日から施行する。

附 則

- 1 この学則は、平成30年4月1日から施行する。ただし、第2条及び第2条の2の改正規定は、平成30年1月29日から施行する。
- 2 改正後の第37条第3項の規定は、平成29年度以前に医学部に入学した者には適用しない。

附 則

この学則は、平成30年4月1日から施行する。

附 則

- 1 この学則は、令和2年4月1日から施行する。
- 2 令和2年度から令和12年度までの医学部医学科の入学定員及び収容定員は、改正後の第8条の規定にかかわらず、次表のとおりとする。

年度	入学定員	収容定員
令和2年度	115人	688人
令和3年度	115人	690人
令和4年度	115人	690人
令和5年度	115人	690人
令和6年度	115人	690人
令和7年度	115人	690人
令和8年度	105人	680人
令和9年度	105人	670人
令和10年度	105人	660人
令和11年度	105人	650人
令和12年度	105人	640人

- 3 愛知医科大学学則の一部を改正する学則（平成28年4月1日施行）の一部を次のように改正する。

（次のよう略）

附 則

この学則は、令和2年4月1日から施行する。

附 則

この学則は、令和3年4月1日から施行する。

附 則

この学則は、令和4年4月1日から施行する。

附 則

この学則は、令和4年6月1日から施行する。

附 則

この学則は、令和4年7月1日から施行する。

附 則

この学則は、令和5年4月1日から施行する。

附 則

この学則は、令和6年4月1日から施行する。

附 則

この学則は、令和6年9月1日から施行する。

附 則

この学則は、令和7年4月1日から施行する。

変更事項を記載した書類

○ 変更の事由

本学医学部では平成24年度から、愛知県との連携による入学試験「愛知県地域特別枠」を設けており、地域医療等に従事する明確な意思を持つ者を選抜（臨時定員増による10名の募集）している。この臨時定員増の期限は令和6年度であったが、令和7年度に限り増員が認められることになったことから、令和6年8月7日付け文部科学省高等教育局長・厚生労働省医政局長通知「地域の医師確保等の観点からの令和7年度医学部入学定員の増加について」に基づき、愛知県との協議の下、令和7年度においてもこれまでと同様の条件において「愛知県地域特別枠」の入学者選抜を実施することを決定した。このため、医学部入学定員について10名を臨時増員することとし、医学部定員増に係る学則変更認可申請を行う。

○ 定員増の内容

	変更前	変更後
入学定員	105名	115名
収容定員	630名	640名

※収容定員は、学年進行終了時の数

医学部医学科の今回の10名の入学定員の増員は、令和7年度までの臨時定員増である。

年 度	入学定員	収容定員
令和7年度	115人	690人
令和8年度	105人	680人
令和9年度	105人	670人
令和10年度	105人	660人
令和11年度	105人	650人
令和12年度	105人	640人

○ 変更の時期

令和7年4月1日

愛知医科大学学則の一部を改正する学則（令和2年4月1日施行）の一部改正について（新旧対照表）（案）

現 行	改 正 案	備 考																																																																						
<p>(収容定員)</p> <p>第8条 収容定員は、次表のとおりとする。</p> <table border="1" data-bbox="248 1319 392 2085"> <thead> <tr> <th>区 分</th> <th>入学定員</th> <th>収容定員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>医学部 医学科</td> <td>105人</td> <td>630人</td> </tr> <tr> <td>看護学部 看護学科</td> <td>100人</td> <td>400人</td> </tr> </tbody> </table>	区 分	入学定員	収容定員	医学部 医学科	105人	630人	看護学部 看護学科	100人	400人	<p>(収容定員)</p> <p>第8条 (同左)</p>	<p>医学部の入学定員及び収容定員について、臨時定員増期限が令和6年度であるため、改めて、増員期間の1年間(令和7年度)の入学定員を増員(10名)する。</p>																																																													
区 分	入学定員	収容定員																																																																						
医学部 医学科	105人	630人																																																																						
看護学部 看護学科	100人	400人																																																																						
<p>附 則</p> <p>1 この学則は、令和2年4月1日から施行する。</p> <p>2 令和2年度から令和11年度までの医学部医学科の入学定員及び収容定員は、改正後の第8条の規定にかかわらず、次表のとおりとする。</p> <table border="1" data-bbox="632 1339 1102 2085"> <thead> <tr> <th>年 度</th> <th>入学定員</th> <th>収容定員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>令和2年度</td><td>115人</td><td>688人</td></tr> <tr><td>令和3年度</td><td>115人</td><td>690人</td></tr> <tr><td>令和4年度</td><td>115人</td><td>690人</td></tr> <tr><td>令和5年度</td><td>115人</td><td>690人</td></tr> <tr><td>令和6年度</td><td>115人</td><td>690人</td></tr> <tr><td>令和7年度</td><td>105人</td><td>680人</td></tr> <tr><td>令和8年度</td><td>105人</td><td>670人</td></tr> <tr><td>令和9年度</td><td>105人</td><td>660人</td></tr> <tr><td>令和10年度</td><td>105人</td><td>650人</td></tr> <tr><td>令和11年度</td><td>105人</td><td>640人</td></tr> </tbody> </table> <p>3 愛知医科大学学則の一部を改正する学則(平成28年4月1日施行)の一部を次のように改正する。</p> <p>附則第2項の表中</p> <p>「<table border="1" data-bbox="1270 1361 1318 2029"> <tr> <td>平成32年度</td> <td>688人</td> </tr> </table>」</p> <p>を削る。</p>	年 度	入学定員	収容定員	令和2年度	115人	688人	令和3年度	115人	690人	令和4年度	115人	690人	令和5年度	115人	690人	令和6年度	115人	690人	令和7年度	105人	680人	令和8年度	105人	670人	令和9年度	105人	660人	令和10年度	105人	650人	令和11年度	105人	640人	平成32年度	688人	<p>附 則</p> <p>1 この学則は、令和2年4月1日から施行する。</p> <p>2 令和2年度から令和12年度までの医学部医学科の入学定員及び収容定員は、改正後の第8条の規定にかかわらず、次表のとおりとする。</p> <table border="1" data-bbox="632 450 1142 1196"> <thead> <tr> <th>年 度</th> <th>入学定員</th> <th>収容定員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>令和2年度</td><td>115人</td><td>688人</td></tr> <tr><td>令和3年度</td><td>115人</td><td>690人</td></tr> <tr><td>令和4年度</td><td>115人</td><td>690人</td></tr> <tr><td>令和5年度</td><td>115人</td><td>690人</td></tr> <tr><td>令和6年度</td><td>115人</td><td>690人</td></tr> <tr><td>令和7年度</td><td>115人</td><td>690人</td></tr> <tr><td>令和8年度</td><td>105人</td><td>680人</td></tr> <tr><td>令和9年度</td><td>105人</td><td>670人</td></tr> <tr><td>令和10年度</td><td>105人</td><td>660人</td></tr> <tr><td>令和11年度</td><td>105人</td><td>650人</td></tr> <tr><td>令和12年度</td><td>105人</td><td>640人</td></tr> </tbody> </table> <p>3 (同左)</p>	年 度	入学定員	収容定員	令和2年度	115人	688人	令和3年度	115人	690人	令和4年度	115人	690人	令和5年度	115人	690人	令和6年度	115人	690人	令和7年度	115人	690人	令和8年度	105人	680人	令和9年度	105人	670人	令和10年度	105人	660人	令和11年度	105人	650人	令和12年度	105人	640人
年 度	入学定員	収容定員																																																																						
令和2年度	115人	688人																																																																						
令和3年度	115人	690人																																																																						
令和4年度	115人	690人																																																																						
令和5年度	115人	690人																																																																						
令和6年度	115人	690人																																																																						
令和7年度	105人	680人																																																																						
令和8年度	105人	670人																																																																						
令和9年度	105人	660人																																																																						
令和10年度	105人	650人																																																																						
令和11年度	105人	640人																																																																						
平成32年度	688人																																																																							
年 度	入学定員	収容定員																																																																						
令和2年度	115人	688人																																																																						
令和3年度	115人	690人																																																																						
令和4年度	115人	690人																																																																						
令和5年度	115人	690人																																																																						
令和6年度	115人	690人																																																																						
令和7年度	115人	690人																																																																						
令和8年度	105人	680人																																																																						
令和9年度	105人	670人																																																																						
令和10年度	105人	660人																																																																						
令和11年度	105人	650人																																																																						
令和12年度	105人	640人																																																																						
	<p>附 則</p> <p>この学則は、令和7年4月1日から施行する。</p>																																																																							

学則の変更の趣旨等を記載した書類

学則の変更の趣旨等を記載した書類

目次

ア 学則変更（収容定員変更）の内容	…p. 2
イ 学則変更（収容定員変更）の必要性	…p. 2
ウ 学則変更（収容定員変更）に伴う教育課程等の変更内容	…p. 3
【添付資料1】学則を変更する学科等の教育課程等の概要	…p. 5
【添付資料2】令和7年度入学定員増員計画	…p. 7

学則の変更の趣旨等を記載した書類

ア 学則変更（収容定員変更）の内容

愛知医科大学は、令和7年4月1日から医学部の入学定員及び収容定員について、次のとおり変更する。

	変更前	変更後
入学定員	105名	115名
収容定員	630名	640名

※収容定員は、学年進行終了時の数

イ 学則変更（収容定員変更）の必要性

愛知医科大学は、昭和47年に医学部を設置して以来、医師養成機関として医師を養成してきた。設置当初は入学定員100名、収容定員600名であったが、平成21年4月に入学定員105名、収容定員630名に変更し、また、平成24年4月には、平成22年6月18日に閣議決定された「新成長戦略」等を踏まえた地域の医師確保等に早急に対応するため、愛知県と連携して地域医療等に従事する明確な意思をもった学生の特別選抜枠を設け、平成23年10月20日付け文部科学省高等教育局長通知「地域の医師確保等の観点からの平成24年度医学部入学定員の増加について」に基づき、入学定員5名及び収容定員30名の増員をし、入学定員110名、収容定員660名に変更した。

平成26年度においては、平成26年7月23日付け文部科学省高等教育局長通知「地域の医師確保等の観点からの平成27年度医学部入学定員の増加について」に基づき、愛知県地域特別枠入学の募集人員を5名から8名に拡大して、入学定員3名及び収容定員18名の増員を行い、入学定員113名、収容定員678名に変更した。その際、当初5名増員の計画で愛知県と調整していたが3名の増員となり、翌年の平成27年度において、この残りの2名について、平成27年7月22日付け文部科学省高等教育局長通知「地域の医師確保等の観点からの平成28年度医学部入学定員の増加について」に基づき、愛知県地域特別枠入学の募集人員を8名から10名に拡大することとし、入学定員2名、収容定員12名の増員を図り、入学定員115名、収容定員690名に変更した。

平成31年度においては、令和元年9月2日付け文部科学省高等教育局長通知「地域の医師確保等の観点からの令和2年度医学部入学定員の増加について」に基づき、令和3年度までの愛知県地域特別枠の募集人員を引き続き10名に拡大することとし、入学定員10名、収容定員20名の増員を図り、入学定員115名、収容定員640名（学年進行終了時）に変更した。

令和4年度においては、令和3年8月16日付け文部科学省高等教育局長通知「地域の医師確保等の観点からの令和4年度医学部入学定員の増加について」に基づき、令和4年度までの愛知県地域特別枠の募集人員を引き続き10名に拡大することとし、入学定員10名、収容定員10名の増員を図り、入学定員115名、収容定員640名（学年進行終了時）に

変更した。

令和5年度においては、令和4年8月10日付け文部科学省高等教育局長通知「地域の医師確保等の観点からの令和5年度医学部入学定員の増加について」に基づき、令和5年度までの愛知県地域特別枠の募集人員を引き続き10名に拡大することとし、入学定員10名、収容定員10名の増員を図り、入学定員115名、収容定員640名（学年進行終了時）に変更した。

令和6年度においては、令和5年8月8日付け文部科学省高等教育局長通知「地域の医師確保等の観点からの令和6年度医学部入学定員の増加について」に基づき、令和6年度までの愛知県地域特別枠の募集人員を引き続き10名に拡大することとし、入学定員10名、収容定員10名の増員を図り、入学定員115名、収容定員640名（学年進行終了時）に変更した。

今回の学則変更（収容定員変更）は、医学部の入学定員及び収容定員について、臨時定員増期限が令和6年度であるため、改めて令和6年8月7日付け文部科学省高等教育局長通知「地域の医師確保等の観点からの令和7年度医学部入学定員の増加について」に基づき、引き続き入学定員を増員（10名）するものである。

ウ 学則変更（収容定員変更）に伴う教育課程等の変更内容

地域医療への関心を更に高めるため、次のとおりカリキュラムの充実を図る。

- (1) 1学年次において、3日間にわたる「早期体験実習1c（臨床科見学実習）」を実施。これまでは大学病院内での実施であったが、近年は、3日間のうち1日は同窓生開業施設においても実習を行っており、学内外において実習先の外来患者さんを中心とする多職種連携の現場を見学・体験し、実際の地域医療現場で行われている連携・協力がいかに重要かを理解・把握する。
- (2) 2学年次において、2日間にわたる「地域社会医学実習」を実施。これまでの心身障害者施設だけでなく消防署等地域での様々な施設での実習により、障害者の介護、救急医療の現場、働く人々の実態を体験し、医師になる者としての自覚を高めるとともに、それぞれの場面におけるさまざまな人々の健康に関する悩みや苦しみを知り、社会における医師としての役割を理解する。
- (3) 3学年次において、4日間にわたる「地域包括ケア実習」を実施。老人保健施設や訪問看護ステーション等で実習を行い、地域社会に求められる福祉・介護について学ぶ。地域枠学生の希望者には、平成30年度からケニアのHIV陽性患者診療関連施設や障がい児施設などで、患者さん及び地域住民への医療提供、予防活動の実際を視察・体験する「ケニア地域医療実習」を実施している。
- (4) 4学年次においては、平成28年度から「地域医療総合医学」を開講、「地域医療早期体験実習」を導入。前者では、地域医療実践のための総合診療、プライマリ・ケアおよび地域包括ケアについて学び、後者では、大学病院以外の一般の地域医療機関においてどのような医療が実践されているのか、医師およびその他の医療専門職の業務を体験し、クリニカル・クラークシップでの地域医療への準備とすると共に、地域医療への学修意欲向上の契機とする。

- (5) 5, 6 学年次においては、「クリニカル・クラークシップ」において、地域社会で求められる保健・医療・福祉・介護などの活動を通じて地域医療と地域包括ケアシステムを一体的に構築することの必要性・重要性を学ぶ。特に、平成31年度からは、地域医療への関心を更に高めるため、4 学年次からスタートするクリニカル・クラークシップも含め、次のとおり充実を図っている。
- 医学部4～5 学年次の診療参加型臨床実習（総合診療科ローテーション：必修）において午前中の外来指導を医学生と研修医に1 週間実施する。
 - 医学部4～5 学年次の診療参加型臨床実習（必修）において、すべての学生を近隣の総合診療クリニックへ2 週間派遣し実習を実施する。
 - 医学部5～6 学年次の診療参加型臨床実習（地域枠学生必修，他学生選択）において、愛知県および岐阜県の総合診療実践中核病院に4 週間学生を派遣し実習を実施する。

教 育 課 程 等 の 概 要

（医学部医学科）

科目区分	授業科目の名称	配当年次	主要授業科目	単位数			授業形態			基幹教員等の配置					備考		
				必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手		基幹教員以外の教員 （助手を除く）	
基礎医学系科目	プロフェッショナリズム1 a	1前		1			○			1	1						
	プロフェッショナリズム1 b	1通		1			○			4	1	1					
	プロフェッショナリズム2	2通		1.5			○			2	1		1				
	プロフェッショナリズム3	3後		0.5			○			1							
	プロフェッショナリズム4	4前		0.5			○			1		1					
	多職種連携演習	1~4		1.5				○		3	1	3				兼任7	単位認定は4学年次にて。
	アカデミックリテラシー	1前		0.5			○			4	2	1					
	ICTリテラシー	1前		0.5			○			3							
	医療のための情報学（前学期）	1前		1			○			1							
	医療のための情報学（後学期）	1後		1			○			1							
	医用心理学	1前		1			○			1							
	行動科学1 a	1前		0.5			○			3	1						
	行動科学1 b	1後		1			○			1							
	行動科学1 c	1後		0.5			○			1	1	1					
	行動科学2	2後		1			○			1		2	1			兼任1	
	統計学1	1後		0.5			○			1							
	統計学2	2後		0.5			○			1							
	スポーツ科学	1前		1			○	○		1	1		2				
	医用物理学	1前		1.5			○			1	1						
	生体分子の化学	1前		1.5			○			1							
	細胞生物学	1通		2			○			3							
	基礎科学実習	1前		0.5					○	5	3		1				
	PBL	1後		1.5					○	1	1	2					
	医学英語1 a	1前		1			○			1	1	1					
	医学英語1 b（前学期）	1前		1			○			1		1	1				
	医学英語1 b（後学期）	1後		1			○			1		1	1				
	医学英語2	2通		1.5			○			1	1	1	1				
	医学英語3	3前		1			○			3	1	1	1				
	医学英語4	4前		1			○			2	2		1				
	ポルトガル語	1後						○								外部講師	科目を選択し受講する。
	中国語	1後						○								外部講師	
	韓国語	1後						○								外部講師	
	ドイツ語	1後						○								外部講師	
	初年次医科学セミナー	1通		1.5					○	6	2	1	1				
	自然科学演習	1前		0.5				○		4	3						
	哲学と医療	1後						○				1					
	経済と医療	1後						○								外部講師	2科目を選択し受講する。
	文学と医療	1後						○								外部講師	
	宗教と医療	1後						○								外部講師	
	数学と医療	1後						○		1							
	分子発生物学	2前		1.5				○		4							
	生命倫理1	1後		0.5				○				1					
	生命倫理2	2後		0.5				○				1					
	早期体験実習1 a（シミュレーション実習）	1前		0.5					○	1	2					兼任1	
	早期体験実習1 b（看護体験実習）	1前		0.5					○	1	2						
	早期体験実習1 c（臨床科見学実習）	1後		0.5					○	1	2						
	基礎医学セミナー	2後、3通		3.5					○	2							
	解剖学1 a	1前		1.5				○		1		1	3				
	解剖学実習1 a	1前		0.5					○	1	1	2	5				
	解剖学1 b	1後		4.5				○		1	1	1	5				
解剖学実習1 b	1後		0.5					○	1	1	2	5					
解剖学実習2	2前		3					○	1	1	2	5			兼任2		
生理学1	1後		4				○		3	3	1						
生理学2	2前		4.5				○		2	6	1						
生理学実習	2前		1.5					○	3	1	7	1					
生化学1	1後		2				○		1	1							
生化学2	2前		1.5				○		2								
生化学実習	2前		0.5					○	3	1	1						
薬理学	2後		2.5				○		1	1							
薬理学実習	2後		0.5					○	1	1		2					
病理学	2後		2.5				○		2		4	1					
病理学実習	2後		0.5					○	2	1	7	1					
統合講義（腫瘍学）	2後		1				○		8	1	1						
統合講義（炎症学）	2後		1				○		5	1	1	1					
微生物学（細菌分野）	2後		1.5				○		1			2					
微生物学（ウイルス・真菌分野）	2後		2				○		1			1					
免疫学	2前		1.5				○		4		2	1					
免疫学実習	2前		0.5					○	1	1	2						
寄生虫学	2後		1.5				○		1	1	2	1					
衛生学	3前		2				○		1	1	2						
公衆衛生学	3前		2				○		2	1	3						
公衆衛生学実習	3後		0.5					○	2		2						
法医学	3後		2				○		1	1		2					

大学名	国公立
愛知医科大学	私立

1. 現在（令和6年度）の入学定員（編入学定員）及び収容定員

入学定員	2年次編入学定員	3年次編入学定員	収容定員
115	0	0	690

↑
(収容定員計算用)

	R1	R2	R3	R4	R5	R6	計
(ア) 入学定員	115	115	115	115	115	115	690
(イ) 2年次編入学定員	0	0	0	0	0	0	0
(ウ) 3年次編入学定員	0	0	0	0	0	0	0
計	115	115	115	115	115	115	690

2. 本増員計画による入学定員増を行わない場合の令和7年度の入学定員（編入学定員）及び収容定員

入学定員	2年次編入学定員	3年次編入学定員	収容定員
105	0	0	630

↑
(収容定員計算用)

	R7	R8	R9	R10	R11	R12	計
(ア) 入学定員	105	105	105	105	105	105	630
(イ) 2年次編入学定員	0	0	0	0	0	0	0
(ウ) 3年次編入学定員	0	0	0	0	0	0	0
計	105	105	105	105	105	105	630
(臨時的な措置で減員した場合、その人数)							

3. 令和7年度の増員計画

入学定員	2年次編入学定員	3年次編入学定員	収容定員
115	0	0	640

↑
(収容定員計算用)

	R7	R8	R9	R10	R11	R12	計
(ア) 入学定員	115	105	105	105	105	105	640
(イ) 2年次編入学定員	0	0	0	0	0	0	0
(ウ) 3年次編入学定員	0	0	0	0	0	0	0
計	115	105	105	105	105	105	640
(臨時的な措置で減員した場合、その人数)							

増員希望人数	10
--------	----

↑
(内訳)

(1) 地域の医師確保のための入学定員／編入学定員増（地域枠）	10
(2) 研究医養成のための入学定員／編入学定員増（研究医枠）	0
計	10

1. 地域の医師確保のための入学定員増について

増員希望人数 10

(1) 対象都道府県名及び増員希望人数

都道府県名	増員希望人数
大学が所在する都道府県 愛知県	10
大学所在地以外の都道府県	
計	10

※「大学所在地以外の都道府県」が5都道府県未満の場合は、残りの欄は空欄でご提出ください。

(2) 修学資金の貸与を受けた地域枠学生の確保状況

都道府県名	R5地域枠定員 (※1)	R5貸与者数 (※2)	R6地域枠定員 (※1)	R6貸与者数 (※2)	R5とR6の貸与 者数のうち多い 方の数
愛知県	10	10	10	10	10
					0
					0
					0
					0
計	10	10	10	10	10

(※1) 臨時定員分のみで記入ください。

(※2) 恒久定員の中で地域枠を実施している場合、恒久定員分の地域枠の人数も含めた修学資金の貸与実績をご記入ください。

※6都道府県未満の場合は、残りの欄は空欄でご提出ください。

(3) 令和7年度地域の医師確保のための入学定員増について

1. 大学が講ずる措置

1-1. 地域枠学生の選抜

① 令和5年度に実施した地域枠学生(令和6年入学)の選抜について、下記をご記入ください。複数種類の選抜を行った場合には、それぞれご記入ください。また、参考として学生募集要項の写しをご提出ください。

名称	入試区分	選抜方式	募集人数	うち臨時定員分	選抜方法(※1)	出願要件(※1)	診療科の選定の有無		診療科の選定(推奨)がある場合) その診療科名	開始年度	備考
							有(推奨)	無			
学校推薦型選抜(愛知県地域特別枠A方式)	(i) 学校推薦型選抜	別枠(先行型)	5	5	推薦書及び推薦書、基礎学力試験、小論文、面接等により入学志願者の能力・適性等を総合判断して合格者を決定する。 ○小論文(60分、5段階評価) ○基礎学力試験 ・数学I・数学II、数学III、数学A、数学B(数列・ベクトル)』(60分、100点) ・外国語I(コミュニケーション英語I、コミュニケーション英語II、コミュニケーション英語III、英語表現I、英語表現II)』(60分、100点) ○面接(個人面接) (5段階評価)	次の1)~6)のすべてに該当し、かつ2024年度大学入学共通テストにおいて本学の指定する教科・科目を受験している者。 (1) 学校教育法第90条第1項に基づく、日本国内の全日制高等学校又は中等教育学校で、2023年3月に卒業した者、若しくは2024年3月に卒業見込みの者で愛知県内出身の者(下記のいずれかに該当する者) ・愛知県内に所在する高等学校又は中等教育学校の出身者 ・出願時において本人又は保護者が愛知県内に居住する者 (2) 将来、愛知県及び本市からの修学資金の貸与を受け、医師免許取得後、本学で臨床研修(2年)及び専門研修(3年)の5年間勤務し、その後愛知県地域医師キャリア形成プログラムに基づき、愛知県が指定する公的医療機関等において5年間地域医師に従事することを確約できる者	有(推奨)	無	○内科系(内科、総合内科、呼吸器内科、循環器内科、消化器内科、神経内科) ○外科系(外科、小児科、整形外科、形成外科) ○救急科 ○麻酔科 ○小児科 ○産婦人科 ○総合診療科	H29	
大学入学共通テスト利用選抜(愛知県地域特別枠B方式)	(iii) 一般選抜地域枠(前期・後期)	別枠(区別型)	5	5	第1次試験の大学入学共通テストの結果に加えて、第2次試験の十分な時間をかけ面接により、総合的に選抜する。 第1次試験 ○国語『国語』(近代以降の文章)(100点) ○数学I・数学II(100点)及び『数学II・数学B』(100点) ○理科『物理I』、『化学I』、『生物I』から2科目選択(200点、各100点) ○外国語『英語』(200点、リスニング160点、リーディング40点) ※『英語I』リーディング100点を160点に、リスニング100点を40点に換算する。(配点合計700点) 第2次試験 ○面接(個人面接)(5段階評価)	次の1)~3)のすべてに該当し、かつ2024年度大学入学共通テストにおいて本学の指定する教科・科目を受験している者。 (1) 学校教育法第90条第1項に基づく、日本国内の全日制高等学校又は中等教育学校で、2023年3月に卒業した者、若しくは2024年3月に卒業見込みの者で愛知県内出身の者(下記のいずれかに該当する者) ・愛知県内に所在する高等学校又は中等教育学校の出身者 ・出願時において本人又は保護者が愛知県内に居住する者 (2) 将来、愛知県及び本市からの修学資金の貸与を受け、医師免許取得後、本学で臨床研修(2年)及び専門研修(3年)の5年間勤務し、その後愛知県地域医師キャリア形成プログラムに基づき、愛知県が指定する公的医療機関等において5年間地域医師に従事することを確約できる者	有(推奨)	無	○内科系(内科、総合内科、呼吸器内科、循環器内科、消化器内科、神経内科) ○外科系(外科、小児科、整形外科、形成外科) ○救急科 ○麻酔科 ○小児科 ○産婦人科 ○総合診療科	H24	平成29年度入試から、推薦入試と同じ試験内容による入試(A方式)を導入したため、それまで実施していた入試をB方式とした。
合計			10	10							

(※1) 貴大学において作成した学生募集要項に記載の内容をご記入ください。

※空欄がある場合は、何も記入せずそのままご提出ください。

②令和6年度に実施する地域枠学生(令和7年入学)の選抜について、下記をご記入ください。複数種類の選抜を行っている場合には、それぞれで記入ください。また、参考としてPRのために作成した文書(リーフレット、ホームページ、テレビ、新聞、雑誌等)の写しをご提出ください。

名称	入試区分	選抜方式	募集人数		選抜方法(※1)	出願要件(※1)	診療科の選定の有無(推奨)	(診療科の選定(推奨)がある場合) その診療科名	開始年度	備考
			うち臨時定員分							
大学入学共通テスト利用選抜(愛知県地域枠)別枠(前期・後期)別枠B方式	(iii) 一般選抜 地域枠(前期・後期)	別枠(先行型)	5	5	推薦書及び推薦書、基礎学力試験、小論文、面接等により入学志願者の能力・適性を総合判断して合格者を決定する。 ○小論文(60分、5段階評価) ○基礎学力試験 ・数学Ⅰ・数学Ⅱ、数学A、数学B(教科列)、数学C(ベクトル・平面上の曲線と複素数平面)』(60分、100点) ただし、旧課程は「数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学Ⅲ、数学A、数学B(教科列・ベクトル)』 外国語/英語コミュニケーションⅠ、英語コミュニケーションⅡ、英語コミュニケーションⅢ、論理・表現Ⅰ、論理・表現Ⅱ、論理・表現Ⅲ』(60分、100点) ※数学及び外国語は、旧教育課程者への経過措置として新旧両課程に共通した範囲から出題する。 ○面接(個人面接)(5段階評価)	2021～60の大学入学共通テストの要件を満たす事で、高等学校長の推薦を申請。 (1) 日本国内の高等学校又は中等教育学校の後継機関を、2024年3月に卒業した者及び2025年3月に卒業見込みの者で愛知県内出身の者(下記①の1に該当する者) ② 推薦書及び面接等による選抜の要する者の出身者 ③ 愛知県及び本学からの修学資金の貸与を受け、医師免許取得後、本学で臨床研修(2年)及び専門研修(3年)の5年間勤務し、その後愛知県地域域医師研修プログラム形成プログラムに基づき、愛知県が指定する医学機関において5年間臨床研修を受けること ④ 将来、愛知県の地域医療に貢献しようとする強い意志を持つ者 ⑤ 医師免許取得後、本学で臨床研修(2年)及び専門研修(3年)の5年間勤務し、その後愛知県地域域医師研修プログラム形成プログラムに基づき、愛知県が指定する公的医療機関等において5年間地域医療に従事することを確約できる者	○内科系(内科、総合内科、呼吸器内科、循環器内科、消化器内科、神経内科)○外科系(外科、消化器外科、整形外科)○救急科○麻酔科○小児科○産婦人科○総合診療科	H29		
大学入学共通テスト利用選抜(愛知県地域枠)別枠(前期・後期)別枠B方式	(iii) 一般選抜 地域枠(前期・後期)	別枠(区別型)	5	5	第1次試験の大学入学共通テストの成績に加え、第2次試験の十分時間配分が、面接により、総合的に選抜する。 第1次試験 (大学入学共通テスト科目科目) ○数学Ⅰ(100点)及び数学Ⅱ(100点)及び数学B(100点)及び数学C(100点) ○理科(物理、化学、生物)から2科目選択(200点、各100点) ○外国語(英語)(200点、リーディング160点、リスニング40点) ※旧教育課程者に対する経過措置として、旧教育科目として選択する。 ※1 旧教育科目は110点を100点に換算する。 ※2 英語リーディング100点を160点に、リスニング100点を40点に換算する。 (配点合計700点) 第2次試験 ○面接(個人面接)(5段階評価)	次の①～③のすべてに該当し、かつ2025年度大学入学共通テストにおいて本学の指定する教科科目を受験している者。 (1) 日本国内の高等学校又は中等教育学校の後期課程を、2024年3月に卒業した者、若しくは2025年3月に卒業見込みの者で愛知県内出身の者(下記①の1に該当する者) ・愛知県内に所在する高等学校又は中等教育学校の出身者 ・出願時に本人又は保護者が愛知県内に居住する者 (2) 将来、愛知県の地域医療に貢献しようとする強い意志を持つ者 (3) 愛知県及び本学からの修学資金の貸与を受け、医師免許取得後、本学で臨床研修(2年)及び専門研修(3年)の5年間勤務し、その後愛知県地域域医師研修プログラム形成プログラムに基づき、愛知県が指定する公的医療機関等において5年間地域医療に従事することを確約できる者	○内科系(内科、総合内科、呼吸器内科、循環器内科、消化器内科、神経内科)○外科系(外科、消化器外科、整形外科)○救急科○麻酔科○小児科○産婦人科○総合診療科	H24		
合計			10	10						

(※1) 貴大学において、PRのために作成した文書(リーフレット、ホームページ、テレビ、新聞、雑誌等)に記載の内容(貴大学において作成予定の学生募集要項に記載予定の内容)をご記入ください。

※空欄がある場合は、何も記入せずにそのままご提出ください。

1-2. 教育内容

①地域枠学生が卒業後に勤務することが見込まれる都道府県での地域医療実習など、地域医療を担う医師養成の観点からの教育内容の概要（令和7年度）について、5～6行程度で簡潔にご記入ください。

1学年次から3学年次においては、学内外における一貫した実習プログラムにより、多職種連携の重要性、社会における医師としての役割、地域社会に求められる福祉・介護について学んでいる。4学年次では、「地域医療総合医学」及び「地域医療早期体験実習」により地域医療実践のための総合診療、プライマリ・ケアおよび地域包括ケアについて学んでいる。4学年次から始まるクリニカル・ラーニングにおいては、近隣の総合診療クリニックでの実習を取り入れるなど、地域医療を担う人材育成のため、総合的に患者を診ることができる人材の養成に取り組んでいる。

（参考：記入例）

1～2年次には、「○○」という科目を開講するとともに「△△」を必修化し、～～を学んでいる。3～4年次には、××実習を行い、～～を学んでいる。またキャリア支援として□□を実施している。令和7年度からは、■を新たに開始するなど、～～を図ることとしている。

②（過去に地域枠を設定したことがある場合）これまでの取組・実績を、3～5行程度で簡潔にご記入ください。

平成24年度から地域枠による増員を開始し、近年では特に、総合診療に関する講義、総合診療に必要な多職種連携について理解を深める実習により、地域医療を担う医師育成を図っている。令和6年度までに113名の地域枠学生を確保し、そのうち22名が1、2年目の臨床研修医として、22名が3、4、5年目の専攻医として地域医療に貢献している。

（参考：記入例）

平成○年度から地域枠による増員を開始し、□□、■などの取組を行った。令和6年度までに△△名の地域枠学生を確保し、そのうち▲▲名が現在～～として地域医療に貢献している。

③上記①の教育内容（正規科目）について、講義・実習科目内容をご記入ください。また、参考としてシラバスの写しをご提出ください。

対象学年	講義・実習名	対象者 （※1）	必修／選択の別		講義／実習の 別	単 位 数	開始年度
			地域枠学生	その他の学生			
1学年次	早期体験実習 1c(臨床科見学 実習)	全員	必修	必修	実習	0.5	H21以前
2学年次	地域社会医学実 習	全員	必修	必修	実習	0.5	H21以前
3学年次	地域包括ケア実 習	全員	必修	必修	実習	1	H21以前
4学年次	地域医療総合医 学	全員	必修	必修	講義	0.5	H28
4学年次	地域医療早期体 験実習	全員	必修	必修	実習	0.5	H28
5学年次	クリニカル・ラー ニングA	全員	必修	必修	実習	40	H21以前
6学年次	クリニカル・ラー ニングB	全員	必修	必修	実習	32	H21以前

（※1）対象者は、当該講義・実習を受講可能な学生を「地域枠学生」「全員」のうちから選択ください。（地域枠学生の希望者のみの場合は、対象者を「地域枠学生」、必修／選択の別を「選択」とご記載ください。）

※空欄がある場合は、何も記入せずそのままご提出ください。

④大学の正規科目以外で、提供する地域医療教育プログラムがあれば、その内容をご記入ください。

対象学年	プログラム名	対象者 (※1)	都道府県との連携	期間 (例：〇週間)	プログラムの概要 (1～2行程度)	開始年度
1～2 学年次	へき地・地域医療 研修会	地域枠学生	-	年 1 回程度	へき地の診療所の見学、へき地医療の講演、それらを踏まえたグループワーク等	H24
1～6 学年次	学内必修学習会	地域枠学生	-	年 6 回程度	へき地医療実習等の課外実習に参加した地域枠学生による実習報告や意見交換、地域医療に関するグループワーク	H29
1～6 学年次	愛知県主催地域 枠研修会	地域枠学生	愛知県主催により実施	年 2 回	愛知県内 4 大学の地域枠学生が集まり、現役医師を交えた座談会や、地域医療に関するグループワークを実施	H24
1～6 学年次	ケニアでのHIV陽 性児・障がい児 支援に関する講 演会	地域枠学生	愛知県後援により実施	年 1 回	究極の地域医療から学ぶ社会的弱者・健康格差の課題への取り組み	H29
3、5、6 学年 次	ケニアHIV診療 キャンプ	地域枠学生	愛知県了承の下で実施	年 1 回	ケニアにおけるHIV患者および地域住民への医療提供、予防活動の体験	H30

(※1) 対象者は、当該講義・実習を受講可能な学生を「地域枠学生」「全員」のうちから選択ください。

※該当がない場合は、何も記入せずにご提出ください。

⑤上記③④以外に、地域医療を担う医師の養成に関する取組等があれば、簡潔にご記入ください。(令和5年度以前から継続する取組を含む) (1～2行程度)

取組の名称	取組の概要 (1～2行程度)	開始年度

※空欄がある場合は、何も記入せずそのままご提出ください。

大学別医学部入学定員一覧

大学名	属性 (国公私)	R6年度定員	本増員計画による 入学定員増を行わ ない場合の令和7 年度の入学定員	R7年度 増員数	R7年度 定員 (計画)
愛知医科大学	私立	115	105	10	115

大学名	令和6年度 定員	本増員計画による入学 定員増を行わない場合 の令和7年度の入学定 員	令和7年度増員計画				令和7年度 定員 (計画)	令和7年度増員計画
								教育内容の概要
			増員数	都道府県ごとの内訳				
愛知医科大学	115	105		地域枠	10			愛知県
			0			0		
			0			0		
			0			0		
			0			0		
			0			0		
			研究医枠	0		0		

学生の確保の見通し等を記載した書類

学生の確保の見通し等を記載した書類

目次

(1) 収容定員を増加する組織の概要	
①収容定員を増加する組織の概要（名称，入学定員（編入学定員），収容定員，所在地）	…p. 2
②収容定員を増加する組織の特色	…p. 2
(2) 人材需要の社会的な動向等	
①収容定員を増加する組織で養成する人材の全国的，地域的，社会的動向の分析	…p. 2
②中長期的な 18 歳人口等入学対象人口の全国的，地域的動向の分析	…p. 2
③収容定員を増加する組織の主な学生募集地域	…p. 2
④既設組織の定員充足の状況	…p. 3
(3) 学生確保の見通し	
①学生確保に向けた具体的な取組と見込まれる効果	…p. 3
ア 既設組織における取組とその目標	
イ 収容定員を増加する組織における取組とその目標	
ウ 当該取組の実績の分析結果に基づく，収容定員を増加する組織での入学者の見込み数	
②競合校の状況分析（立地条件，養成人材，教育内容と方法の類似性と定員充足状況）	…p. 4
ア 競合校の選定理由と収容定員を増加する組織との比較分析，優位性	
イ 競合校の入学志願動向等	
ウ 収容定員を増加する組織において定員を充足できる根拠等（競合校定員未充足の場合のみ）	
エ 学生納付金等の金額設定の理由	
③先行事例分析	…p. 5
④学生確保に関するアンケート調査	…p. 5
⑤人材需要に関するアンケート調査等	…p. 6
(4) 収容定員を増加する組織の定員設定の理由	…p. 6

学生の確保の見通し等を記載した書類

(1) 収容定員を増加する組織の概要

①収容定員を増加する組織の概要（名称，入学定員（編入学定員），収容定員，所在地）

収容定員を増加する組織の概要は以下のとおりである。

収容定員を増加する組織	入学定員	収容定員	所在地
愛知医科大学医学部医学科	115	690	愛知県長久手市岩作雁又1-1

②収容定員を増加する組織の特色

本学は1972年の開学以来、4,764名が医学部を卒業し、そのうち4,726名が医師国家試験に合格し、医師として全国で活躍している。本学は建学の精神の一つに「地域社会に奉仕できる医師の養成」を掲げており、所在地である愛知県の医療分野における課題の解消に取り組んでいる。

今回、令和7年度の医学部入学定員の臨時定員増（105名→115名）に伴う収容定員変更の認可申請を行うものであり、組織の名称、所在地の概要等の変更は行わない。

(2) 人材需要の社会的な動向等

①収容定員を増加する組織で養成する人材の全国的、地域的、社会的動向の分析

医師偏在指標について、国が示した基準では、全国330ある2次医療圏の医師偏在指標の値を一律に比較し、上位33.3%を医師多数区域、下位33.3%を医師少数区域とすることとされている。【資料1】のとおり、愛知県の医師偏在指標は240.2（確定値）で、全国値255.6（同）を下回っており、県内の一部の地域は医師少数区域や医師少数スポットに定められている。愛知県においては、これらの区域における医師の確保として、地域枠医師等、他区域からの医師派遣が求められている。

②中長期的な18歳人口等入学対象人口の全国的、地域的動向の分析

全国の18歳人口は、ピークであった昭和41年には、約249万人であったが、令和4年には112万人にまで減少し、令和23年には約79万人になることが予測されている。【資料2】に示すとおり、全国の18歳人口は昭和50年頃から平成4年にかけて緩やかな増加が見られ、その後再度減少しているものの、大学進学率は上昇傾向にあり、18歳人口の約半数が大学に進学している。【資料3】より、愛知県における大学等進学率においては6割以上であり、全国の進学率よりも高い水準であることから、安定的な志願者数が見込まれる。

③収容定員を増加する組織の主な学生募集地域

【資料4】に示すとおり、愛知県所在の大学の入学者数に占める同県出身者の割合は6割以上であり、同県及び医学部の定員充足率はともに100%を超過していることから、入学者数を安定して確保できている地域である。

また、【資料5】により、本学部入学者の出身高校所在地県別では、同県出身者の割合は5割ほどで、他地域に比較して高いことは明らかであり、今後も同程度の大学等進学者が見込まれる。

④既設組織の定員充足の状況

愛知県地域特別枠について、本学では平成28年度から募集定員を10名増員しており、さらに、入学志願者が個々の状況に合わせて受験の機会が得られるよう、試験日程、科目、受験方式（専願・併願）の異なる2方式に分け、選抜を行うことで、【資料6】に示すとおり、過去5年間安定的に学生を確保している実績がある。よって、医学部入学定員及び収容定員を継続して増員しても、学生を確保することができると思う。

(3) 学生確保の見通し

①学生確保に向けた具体的な取組と見込まれる効果

ア 既設組織における取組とその目標

【資料7】は、オープンキャンパス、公式ホームページ経由での資料請求等の志願者追跡調査結果から作成した、学生募集のためのPR活動の実績を示す資料である。

学生募集に当たり、学部情報及び入試情報について、入試ガイド、学生募集要項、学部案内、ホームページ、新聞・受験雑誌等媒体紙への掲載を行っている。また、Web上のネットワーク等のログ情報を活用し、本学ホームページの入試情報ページへの訪問者が他のウェブサイトを訪れた際に、当該サイトの広告欄に本学ホームページにリンクするバナー広告を配信し、そのトップページに表示することにより本学の入試情報ページへの再訪問者を獲得することで認知度の向上に繋げ、平成30年度入試から導入した「インターネット出願」の出願登録ページへの誘導を促し出願者数の増加を図っている。

さらに、オープンキャンパスの開催、愛知県私立大学広報委員会が企画する大学展、企業及び予備校が企画する進学相談会に参加して多くの受験希望者やその関係者に入学試験内容、本学部の特色や教育内容に関する情報を発信している。特に、志願者の多い地域始め大都市における各種進学相談会への参加、全国規模により高等学校や予備校への訪問を積極的に行っている。

また、平成21年度に大学入試センター試験利用入試（入学定員5名増員）、平成24年度には愛知県地域特別枠入試（入学定員5名増員）を導入し、平成27年度においては、その募集定員を3名、平成28年度においては2名増員し、推薦入試及び一般入試のみであった募集区分に大学入試センター試験利用入試及び愛知県地域特別枠入試を加え、このうち愛知県地域特別枠入試については、後に選抜方法を2期2方式（A方式：推薦入試・B方式：大学入試センター試験利用入試[後期]）に拡大している。平成29年度入試からは、多様な学生の受入れのために国際バカロレア入試を導入し、平成31年4月、全国私立大学医学部では初めて入学者を迎え、これまでに計7名が入学している。平成31年度入試からは、それまで前期日程のみで実施していた大学入試センター試験利用入試の後期日程を設けており、愛知県地域特別枠B方式を始めとする後期日程

の出願期間に併せて、愛知県内での高等学校・予備校訪問を重点的に行っている。さらに近年では、本学への資料請求者へのダイレクトメール配信等、受験希望者の動向に併せた Web 広告についても積極的に活用することで、継続的に学生を確保しており、これまで一度も欠けることなく、地域枠の入学定員を確実に充足させることができている。

イ 収容定員を増加する組織における取組とその目標

【資料 7】に示すとおり、オープンキャンパス及び公式ホームページ経由での資料請求者の志願率はいずれも資料請求媒体と比較して非常に高いことから、大学オウンドメディアの重要性は高い。よって、今後は志願者層ごとに異なる“本学に興味を持つタイミング（学年や時期等）”や“馴染み易い広告媒体”を意識した最適なアプローチ方法をその都度選択する等、大学オウンドメディアへの接触者を増加させる施策をさらに強化していきたい。

ウ 当該取組の実績の分析結果に基づく、収容定員を増加する組織での入学者の見込み数

上述したとおり、令和 7 年度入試においても志願者数及び入学者数は確保できると考えられる。各取組における具体的な数字としては、【資料 7】に掲載のあるものと同程度になると見込まれる。

②競合校の状況分析（立地条件、養成人材、教育内容と方法の類似性と定員充足状況）

ア 競合校の選定理由と収容定員を増加する組織との比較分析、優位性

○競合校の選定理由

本学の競合校としては、愛知県内に医学部を置く 3 大学、中でも同じ私立大学である藤田医科大学が挙げられる。また、定員規模及び偏差値帯についても近似している（定員については、本学は臨時定員含め 115 名、同大学は臨時定員含め 120 名）ことから、競合校として設定するに相応しいと考えられる。

○競合校との比較分析

教育面について、THE 日本大学ランキング 2023 のランキング指標のうち、充実した教育を行うための環境が整っているかどうかを指標化した「教育リソース」分野において、本学は東海 3 県第 1 位、全国第 10 位（藤田医科大学は全国第 27 位）に位置している。また、これで本学は 3 年連続して東海 3 県で 1 位（全国順位 2021：14 位、2022：12 位、2023：10 位）となり、全国的にも優れた教育環境を安定して提供できることは競合校にはない強みといえる。

入試について、愛知県地域特別枠（今回の増員分 10 名）においては、本学の学校推薦型選抜（11 月：専願）及び大学入学共通テスト利用選抜（3 月：併願可）と藤田医科大学の一般選抜（2 月）の選抜日程の重複を避けることでターゲットを差別化し、互いに選抜に十分な入学志願者数並びに入学定員を安定して充足させられている。

修学支援について、藤田医科大学では成績優秀者奨学金制度として、2 年修了時に申請手続きを行った成績上位 15 名を対象に、150 万円（年額）を貸与する制度を採

用している。これは卒業後、併設病院または大学の指定する医療施設で医師の業務に一定期間従事することで全額返還免除となる。これに対して、本学では、在学学生で成績の優秀な者には、翌年の授業料の一部（100万円）を免除する制度を採用しており、卒後の従事要件無く利用することができる。また、5学年次以上の者で卒業後、本学に勤務（臨床研修医及び大学院学生を含む。）する場合には、年額300万円を貸与する独自の奨学金貸与制度もあり、貸与期間の2倍を本学で勤務すると返還は免除となる。

卒業生の就職率について、本学の場合、令和5年度は98.3%、令和4年度は99.1%であり、両年度とも就職者の全てが医療機関に就職している。ただし、就職については、医師臨床研修マッチング協議会によるマッチング方式で決定されるため、就職にあたっては国家試験の合格後、医師免許を取得することが重要であり、国家試験の合格率の向上もキャリアサポートの一つであると考えられる。なお、医師国家試験合格率（新卒）について、第117回は藤田医科大学が98.2%に対して本学は100%、第118回は藤田医科大学は97.5%に対し、本学は98.3%である。

イ 競合校の入学志願動向等

【資料8】に示すとおり、競合校である藤田医科大学医学部は全選抜区分において定員を充足している。また、他に愛知県内に医学部を置く大学においても、医学部の全選抜区分で定員を充足していることから、愛知県内の医学部における志願者数は安定しており、継続して定員を増員しても十分学生を確保できると考える。

ウ 収容定員を増加する組織において定員を充足できる根拠等（競合校定員未充足の場合のみ）

上記より競合校定員は充足しているため、該当しない。

エ 学生納付金等の金額設定の理由

入学金、授業料等の学生納付金の額について、愛知県と本学から合わせて、競合校の藤田医科大学と同額になる2,010万円の修学資金を貸与し、6年間の学費総額を地方の国公立医学部に進学して単身生活をする場合の学生生活費（学費と生活費の合計）と同程度となる約1,400万円までの負担に抑えられていることから、継続して設定することとしている。

③先行事例分析

今回、収容定員増員に係る認可申請のため、該当しない。

④学生確保に関するアンケート調査

収容定員に係る学則変更の認可申請であり、収容定員を増加する組織と同等の既設の学科等の入学実績があるため、当該実績により説明する。なお、令和6年4月までの臨時定員増10名分の1年延長であり、延長にあたって教育課程及び教育環境、教育研究実施組織等における変更はないため、学生確保の状況に特段の変化はない。

【資料9】では、平成30年度以降の入試の本学部の入学志願者数及び入学者数についても安定していることを示している。また、愛知県地域特別枠について、本学部では、愛知県との連携により、平成24年度から「愛知県地域特別枠入学」（第1次試験：大学入試センター試験利用入試、第2次試験：面接）を実施しており、当初3年間は5名、平成27年度には3名増員し8名とした募集定員を翌年度2名増員し10名とした上で、平成29年度入試から、推薦入試と同じ試験内容による入試（A方式）を導入、それまで実施していた入試をB方式とし選抜方法を複線化することで、導入年度からこれまで、十分な倍率を維持しつつ多様な学生を地域枠学生として選抜できていることから、令和6年度においてもそれぞれの募集区分において、志願者数の確保が見込まれる。また、B方式の出願期間は、導入以来、一貫して国公立大学の志願者が併願し易いよう前期日程終了後、試験日（第2次試験：面接）は、国公立大学の合格発表期間の最終日頃に設定しており、その結果、狙いどおりの志願者を確保できている。さらに、入学者には愛知県からの修学資金に、本学からの修学資金を加算して貸与することで、学生の負担を軽減できるよう配慮している。

以上のことから、医学部入学定員及び収容定員を継続して増員しても、学生を確保することができると思う。

⑤人材需要に関するアンケート調査等

医師臨床研修マッチング協議会が公表している「医師臨床研修マッチング結果」は、医師免許を取得して臨床研修を受けようとする者と臨床研修を行う病院の研修プログラムを、互いの希望を踏まえて、一定の規則（アルゴリズム）に従って、コンピュータにより組合せを決定した結果である。

過去3年分における「医師臨床研修マッチング結果」は【資料10】に示すとおりである。表に示すとおり、研修医マッチ者数は病院の募集定員を下回っており、愛知県だけでなく都道府県全体においても、医師に対する人材需要は高い状況にあることが分かる。このような状況に加え、「新成長戦略」（平成22年6月18日閣議決定）において、地域医師確保の必要性に関する方針が示されて以降、現在まで医学部臨時定員増が継続されていることから、(2)①で説明した内容は、社会的な人材需要の見通しを踏まえた計画であると言える。

（4）収容定員を増加する組織の定員設定の理由

今回の定員の増員は、愛知県と連携して実施する「愛知県地域特別枠10名」の増員である。これは愛知県の医師確保を目的とした選抜区分であり、この選抜区分で入学した学生は、卒業後の専門研修で愛知県の指定医療機関（医師の確保が困難な地域に所在する公的医療機関等）に派遣される。今回の定員の増員は上記に記載している地域間偏在の解消に貢献するものである。

なお、今回の定員の増員は、上述の愛知県内における医師の確保を目的に愛知県との協議の下、平成28年度から継続的に10名を増員しているものであり、継続して設定することとしている。

資料目次

【資料1】愛知県の医師偏在指標	…p. 8
【資料2】大学等進学率①	…p. 10
【資料3】大学等進学率②	…p. 12
【資料4】愛知県への入学状況	…p. 14
【資料5】令和2年度～6年度入学者選抜の状況（出身高校所在地県別）	…p. 16
【資料6】入学定員の充足状況	…p. 18
【資料7】学生募集のためのPR活動の過去の実績	…p. 20
【資料8】競合校の入学志願状況	…p. 22
【資料9】平成30年度～令和6年度入学者選抜の状況	…p. 24
【資料10】人材需要に関する調査等	…p. 26

【資料 1】

愛知県の医師偏在指標

出典：愛知県「愛知県医師確保計画(2024-2026)〈概要版〉」

4 医師偏在指標

- 都道府県は国が算定した新たな医師偏在指標を参考に、医師少数区域・医師多数区域等を設定します。

【医師偏在指標の算定式】

$$\text{医師偏在指標} = \frac{\text{標準化医師数} (\ast 1)}{\frac{\text{地域の人口}}{10 \text{万}}} \times \text{地域の標準化受療率比} (\ast 2)$$

※1 医師の性・年齢階級別の平均労働時間で重み付けを行なったもの。

※2 地域ごとの医療需要について、人口構成の違いを踏まえ、受療率を用いて性・年齢階級別に調整等を行ったもの。

【本県の新たな医師偏在指標】

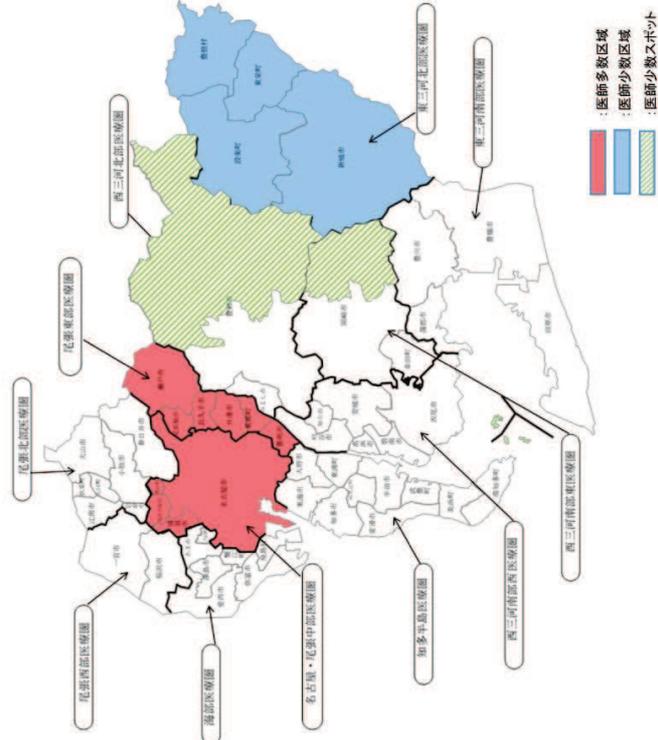
圏域名	新たな医師偏在指標		(参考)	
	順位 (47都道府県) (330医療圏)	区分	前計画策定時の医師偏在指標	順位 (47都道府県) (335医療圏)
全国	255.6		239.8	
愛知県	240.2	28位	224.9	27位
名古屋・尾張中部	305.4	医師多数	284.0	医師多数
海部	207.7	131位	177.6	167位
尾張東部	333.2	医師多数	332.2	医師多数
尾張西部	214.9	120位	184.9	146位
尾張北部	185.2	203位	169.8	194位
知多半島	196.5	174位	186.3	143位
西三河北部	※ 192.3	186位相当	176.7	174位
西三河南部東	188.8	195位	151.4	医師少数
西三河南部西	194.7	181位	188.0	136位
東三河北部	165.2	医師少数	148.3	医師少数
東三河南部	184.2	206位	169.5	197位

※西三河北部医療圏の医師偏在指標については、県で「令和2年医師・歯科医師・薬剤師統計」の医師数を修正の上、再計算を行いました。

5 医師少数区域・医師多数区域・医師少数スポットの設定

- 国が示した基準では、全国330ある2次医療圏の医師偏在指標の値を一律に比較し、上位33.3%を医師多数区域、下位33.3%を医師少数区域とすることとされています。
- 本県は医師少数でも多数でもない都道府県とされています。
- 医師多数区域については、名古屋・尾張中部医療圏と尾張東部医療圏を設定します。
- 医師少数区域については、東三河北部医療圏を設定します。
- 医師少数スポットについては、山村振興法、過疎地域の持続的発展の支援に関する特別措置法及び離島振興法の適用地域のうち、下記3スポットを設定します。
- ・豊田市の旧藤岡町、旧小原村、旧足助町、旧旭町、旧稲武町、旧下山村（西三河北部医療圏）
- ・南知多町篠島、日間賀島（知多半島医療圏）、西尾市佐久島（西三河南部西医療圏）
- ・岡崎市旧額田町（西三河南部東医療圏）

＜愛知県における医師少数区域・医師多数区域・医師少数スポット＞

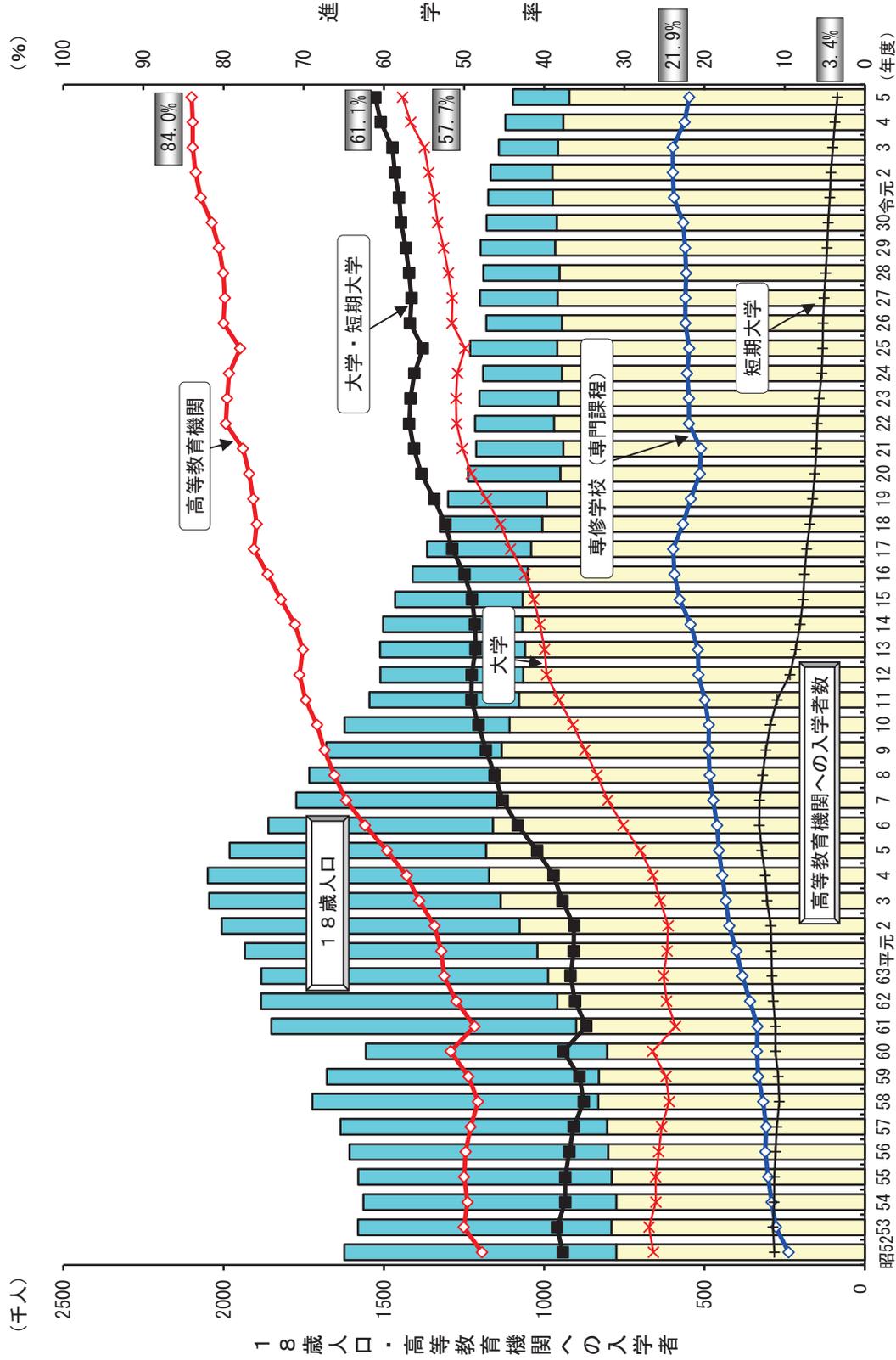


【資料 2】

大学等進学率①

出典：文部科学省（2023）「学校基本調査」

高等教育機関への入学状況(過年度高卒者等を含む)の推移



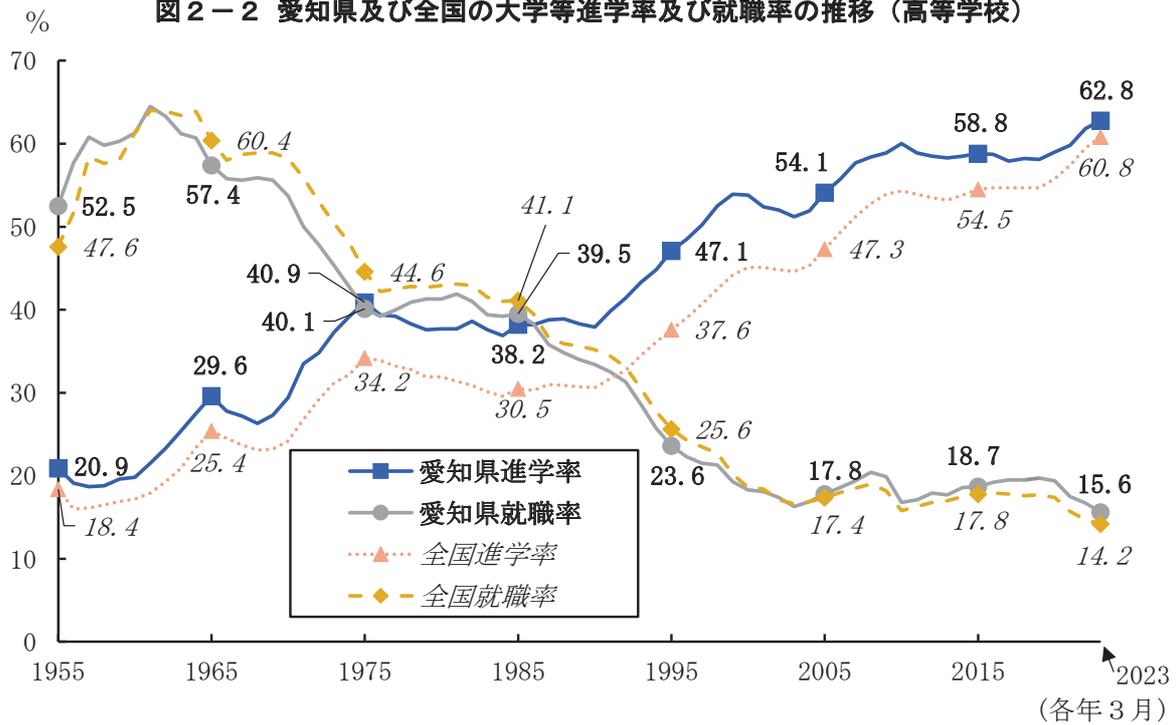
(注) 1 18歳人口とは3年前の中学校・義務教育学校卒業者及び中等教育学校前期課程修了者数をいう。
 2 高等教育機関入学者とは、大学学部・短期大学本科入学者(過年度高卒者等含む)、高等専門学校第4学年在学者、専修学校(専門課程)入学者である。また、それぞれの進学率は入学者を3年前の中学校・義務教育学校卒業者及び中等教育学校前期課程修了者で除した比率である。

【資料 3】

大学等進学率②

出典：愛知県（2024）「学校基本調査結果(愛知県分)」

図 2-2 愛知県及び全国の大学等進学率及び就職率の推移（高等学校）



イ 専修学校（専門課程）進学者数

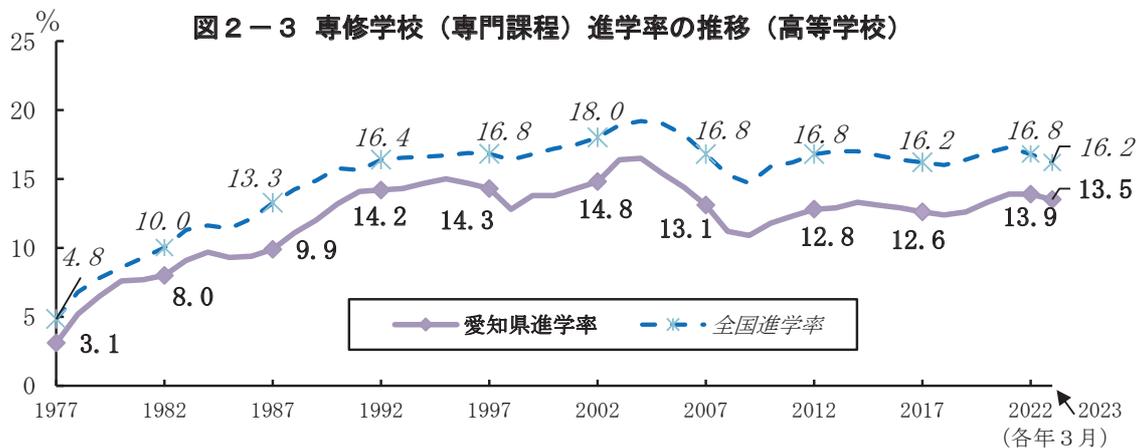
専修学校（専門課程）進学者は 8,048 人（男子 2,778 人、女子 5,270 人）で、前年に比べ 380 人減少しました。（表 2-4、表 2-5、図 2-3）

表 2-5 専修学校（専門課程）進学者数等の推移（高等学校）

単位：人

区 分	専修学校 （専門課程）	専修学校 （一般課程）等	専修学校 （一般課程）等		公共職業能力 開発施設等
			専修学校 （一般課程）等	各種学校	
2019年3月	8,119	3,667	899	2,768	81
2020	8,410	2,944	811	2,133	75
2021	8,645	2,978	928	2,050	101
2022	8,428	2,377	539	1,838	73
2023	8,048	2,355	731	1,624	102

図 2-3 専修学校（専門課程）進学率の推移（高等学校）



【資料4】

愛知県への入学状況

出典：文部科学省(2023)「学校基本調査」

日本私立学校振興・共済事業団(2023)「私立大学・短期大学等入学志願動向」

新設組織が置かれる都道府県への入学状況

○出身高校の所在地県別の入学者数の構成比（上位5都道府県）※直近年度

	都道府県名	人 数	構成比
1	愛知県	28,204人	65.2%
2	岐阜県	4,549人	10.5%
3	三重県	2,754人	6.4%
4	静岡県	2,098人	4.9%
5	長野県	674人	1.6%
	全 体	43,241人	100.0%

※「学校基本調査」の「出身高校の所在地県別入学者数」から作成すること。

※大学、学部、学部の学科、短期大学、短期大学の学科を設置する場合のみ作成（専門職大学、専門職短期大学、高等専門学校を含む）。大学院は作成不要。

○新設組織が置かれる都道府県の定員充足状況

	新組織所在地 (都道府県)	充足率		
		令和3年度	令和4年度	令和5年度
1	愛知県	100.86%	102.06%	101.71%
2				

※2校地で教育課程を実施する場合はそれぞれの状況を記載すること。

○新設組織の学問分野（系統区分）の定員充足状況

	系統区分	充足率		
		令和3年度	令和4年度	令和5年度
1	医学	100.20%	100.51%	100.43%
2				

※「系統区分」は日本私立学校振興・共済事業団の「今日の私学財政」の系統区分に従うこと。

【資料5】

令和2年度～6年度入学者選抜の状況
(出身高校所在地県別)

高校所在地	R2			R3			R4			R5			R6		
	志願者数	入学者数	志願者率												
北海道	50	3	1.4%	44	2	1.4%	34	1	1.2%	29	0	0.0%	46	0	0.0%
青森県	4	0	0.1%	2	0	0.0%	2	0	0.1%	5	0	0.0%	5	0	0.0%
岩手県	15	1	0.4%	9	0	0.0%	7	0	0.2%	2	0	0.0%	3	0	0.0%
宮城県	20	0	0.6%	13	0	0.0%	9	0	0.3%	5	1	0.2%	14	0	0.0%
秋田県	7	0	0.2%	6	0	0.0%	4	0	0.1%	2	0	0.0%	2	0	0.0%
山形県	7	0	0.2%	5	0	0.0%	3	0	0.1%	3	0	0.0%	3	0	0.0%
福島県	4	0	0.1%	7	0	0.0%	7	0	0.2%	1	0	0.0%	7	0	0.0%
茨城県	28	2	0.8%	32	1	1.0%	24	1	0.8%	28	2	1.2%	39	2	1.8%
栃木県	29	0	0.8%	27	0	0.0%	21	0	0.7%	13	0	0.0%	19	0	0.0%
群馬県	22	1	0.6%	17	0	0.5%	12	0	0.5%	12	0	0.0%	26	2	0.8%
埼玉県	105	3	3.0%	96	3	3.0%	72	2	2.5%	30	2	1.7%	62	1	1.9%
千葉県	42	3	1.2%	29	2	0.9%	41	3	1.4%	16	1	0.7%	40	1	1.2%
東京都	402	8	11.4%	342	5	10.7%	331	7	11.6%	143	5	5.8%	376	8	11.4%
神奈川県	104	3	3.0%	113	2	1.7%	108	2	1.8%	37	1	1.5%	107	5	3.2%
新潟県	25	0	0.7%	25	0	0.0%	19	2	0.7%	12	1	0.5%	26	0	0.0%
富山県	10	0	0.3%	12	0	0.0%	13	0	0.5%	4	0	0.0%	5	0	0.0%
石川県	15	1	0.4%	13	1	0.4%	6	0	0.2%	16	2	0.7%	15	0	0.0%
福井県	22	0	0.6%	11	0	0.3%	11	0	0.4%	8	0	0.0%	15	0	0.0%
山梨県	19	0	0.5%	10	0	0.3%	20	0	0.7%	13	0	0.0%	25	0	0.0%
長野県	50	1	1.4%	52	2	1.6%	41	1	1.4%	36	3	1.5%	51	1	0.5%
岐阜県	79	1	2.2%	82	6	2.8%	72	1	2.5%	94	4	3.8%	116	4	3.5%
静岡県	125	5	3.6%	129	8	4.0%	94	1	3.3%	99	4	4.0%	126	2	1.8%
愛知県	820	47	23.3%	813	47	25.5%	756	58	26.5%	869	63	35.4%	893	49	27.1%
三重県	114	4	3.2%	100	5	3.1%	98	4	3.4%	114	4	4.6%	120	5	3.6%
滋賀県	22	1	0.6%	15	1	0.9%	10	1	0.4%	11	1	0.4%	14	0	0.0%
京都府	128	2	3.6%	126	2	4.0%	84	3	2.9%	78	1	3.2%	113	2	3.4%
大阪府	395	10	11.2%	309	9	9.7%	265	7	9.3%	210	10	8.6%	311	15	9.4%
兵庫県	141	4	4.0%	99	6	5.2%	110	3	3.9%	103	2	4.2%	148	3	4.5%
奈良県	120	4	3.4%	102	4	3.2%	71	2	2.5%	66	1	1.7%	71	1	2.2%
和歌山県	37	1	1.1%	30	1	0.9%	24	0	0.8%	19	1	0.8%	22	2	1.8%
鳥取県	14	0	0.4%	7	0	0.0%	3	0	0.1%	7	1	0.3%	8	0	0.0%
島根県	6	0	0.2%	7	0	0.0%	4	0	0.1%	5	0	0.0%	8	0	0.0%
岡山県	52	4	1.5%	45	2	1.4%	46	1	1.6%	47	1	1.9%	49	2	1.5%
広島県	69	1	2.0%	48	1	1.5%	54	2	1.9%	27	1	1.1%	59	2	1.8%
山口県	15	0	0.4%	20	0	0.6%	22	0	0.8%	10	0	0.4%	17	2	0.5%
徳島県	12	0	0.3%	13	0	0.0%	6	1	0.2%	9	0	0.0%	11	0	0.0%
香川県	25	0	0.7%	14	0	0.4%	28	1	1.0%	20	0	0.0%	16	0	0.0%
愛媛県	40	2	1.1%	34	1	1.1%	23	2	0.8%	21	3	0.9%	20	0	0.0%
高知県	15	1	0.4%	13	0	0.4%	10	0	0.4%	10	0	0.0%	14	0	0.0%
福岡県	95	2	2.7%	112	1	3.5%	91	3	3.2%	68	1	2.8%	83	1	2.5%
佐賀県	43	1	1.2%	45	4	1.4%	31	1	1.1%	35	0	0.0%	39	2	1.2%
長崎県	41	1	1.2%	35	0	0.0%	44	2	1.5%	26	1	1.1%	33	0	0.0%
熊本県	24	1	0.7%	19	0	0.5%	24	2	0.8%	16	1	0.7%	22	2	0.7%
大分県	13	0	0.4%	16	0	0.5%	12	0	0.4%	7	0	0.0%	7	0	0.0%
宮崎県	22	0	0.6%	15	0	0.5%	14	1	0.5%	15	0	0.0%	17	0	0.0%
鹿児島県	32	1	0.9%	36	0	1.1%	29	0	1.0%	24	2	1.0%	36	1	1.1%
沖縄県	16	0	0.5%	8	0	0.3%	10	0	0.4%	11	0	0.0%	18	0	0.0%
検定合格	19	0	0.5%	22	1	0.7%	19	0	0.7%	11	1	0.4%	14	0	0.0%
外国の学校等	3	0	0.1%	5	0	0.2%	6	0	0.2%	4	0	0.0%	4	0	0.0%
※海外に在籍する生徒	1	0	0.0%	1	0	0.0%	0	0	0.0%	0	0	0.0%	0	0	0.0%
在外教育施設	0	0	0.0%	0	0	0.0%	0	0	0.0%	0	0	0.0%	0	0	0.0%
合計	3,518	115	100.0%	3,186	116	100.0%	2,849	115	100.0%	2,455	115	100.0%	3,299	113	100.0%

※国際バカロレア選抜は除く

【資料6】

入学定員の充足状況

既設学科等の入学定員の充足状況（直近5年間）
 大学学部学科等名：愛知医科大学医学部医学科

別紙2-1

（大学の学科、短大の専攻課程、高専の学科ごとに作成。大学院は作成不要。）

1. 各選抜方法の状況

		R2年度入学者	R3年度入学者	R4年度入学者	R5年度入学者	R6年度入学者	平均	
学校推薦 型選抜 （公募制）	募集人数	20人	20人	20人	20人	20人	20人	
	延べ人数	志願者数	88人	106人	96人	79人	84人	91人
		受験者数	88人	105人	95人	77人	83人	90人
		合格者数	20人	20人	20人	20人	20人	20人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	実人数	志願者数	88人	106人	96人	79人	84人	91人
		受験者数	88人	105人	95人	77人	83人	90人
		合格者数	20人	20人	20人	20人	20人	20人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	入学者数	20人	20人	20人	20人	20人	20人	
	地域特 別推薦 型A選 抜（愛 知県）	募集人数	5人	5人	5人	5人	5人	5人
		延べ人数	志願者数	14人	25人	12人	12人	13人
受験者数			14人	25人	12人	12人	13人	15人
合格者数			5人	5人	2人	4人	5人	4人
うち追加合格者数			0人	0人	0人	0人	0人	0人
辞退者数			0人	0人	0人	0人	0人	0人
実人数		志願者数	14人	25人	12人	12人	13人	15人
		受験者数	14人	25人	12人	12人	13人	15人
		合格者数	5人	5人	2人	4人	5人	4人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
入学者数		5人	5人	2人	4人	5人	4人	
一般選 抜		募集人数	65人	65人	65人	65人	65人	65人
		延べ人数	志願者数	2360人	2244人	2040人	1392人	2212人
	受験者数		2304人	2179人	1989人	1327人	2157人	1991人
	合格者数		242人	275人	325人	219人	305人	273人
	うち追加合格者数		59人	94人	137人	89人	106人	97人
	辞退者数		177人	209人	262人	154人	241人	209人
	実人数	志願者数	2360人	2244人	2040人	1392人	2212人	2050人
		受験者数	2304人	2179人	1989人	1327人	2157人	1991人
		合格者数	242人	275人	325人	219人	305人	273人
		うち追加合格者数	59人	94人	137人	89人	106人	97人
		辞退者数	177人	209人	262人	154人	241人	209人
	入学者数	65人	66人	63人	65人	64人	65人	
	期 ※ 共通 テスト 利用 入試 （前 期）	募集人数	15人	15人	15人	15人	15人	15人
		延べ人数	志願者数	955人	713人	603人	809人	872人
受験者数			947人	705人	594人	803人	866人	783人
合格者数			61人	81人	60人	64人	46人	62人
うち追加合格者数			26人	50人	30人	26人	6人	28人
辞退者数			46人	66人	44人	49人	31人	47人
実人数		志願者数	955人	713人	603人	809人	872人	790人
		受験者数	947人	705人	594人	803人	866人	783人
		合格者数	61人	81人	60人	64人	46人	62人
		うち追加合格者数	26人	50人	30人	26人	6人	28人
		辞退者数	46人	66人	44人	49人	31人	47人
入学者数		15人	15人	16人	15人	15人	15人	
期 ※ 共通 テスト 利用 入試 （後 期）		募集人数	5人	5人	5人	5人	5人	5人
		延べ人数	志願者数	68人	63人	57人	116人	77人
	受験者数		65人	62人	57人	114人	76人	75人
	合格者数		10人	13人	8人	7人	5人	9人
	うち追加合格者数		5人	8人	3人	1人	0人	3人
	辞退者数		5人	8人	2人	2人	1人	4人
	実人数	志願者数	68人	63人	57人	116人	77人	76人
		受験者数	65人	62人	57人	114人	76人	75人
		合格者数	10人	13人	8人	7人	5人	9人
		うち追加合格者数	5人	8人	3人	1人	0人	3人
		辞退者数	5人	8人	2人	2人	1人	4人
	入学者数	5人	5人	6人	5人	4人	5人	
	県 共通 テスト 特別 利用 型B入 試（愛 知）	募集人数	5人	5人	5人	5人	5人	5人
		延べ人数	志願者数	33人	35人	41人	47人	41人
受験者数			33人	35人	41人	47人	41人	39人
合格者数			15人	13人	25人	12人	10人	15人
うち追加合格者数			10人	8人	17人	6人	5人	9人
辞退者数			10人	8人	17人	6人	5人	9人
実人数		志願者数	33人	35人	41人	47人	41人	39人
		受験者数	33人	35人	41人	47人	41人	39人
		合格者数	15人	13人	25人	12人	10人	15人
		うち追加合格者数	10人	8人	17人	6人	5人	9人
		辞退者数	10人	8人	17人	6人	5人	9人
入学者数		5人	5人	8人	6人	5人	6人	
国 際バ カロ リア 選 抜		募集人数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		延べ人数	志願者数	3人	3人	2人	5人	5人
	受験者数		3人	3人	2人	5人	5人	4人
	合格者数		3人	2人	2人	2人	3人	2人
	うち追加合格者数		0人	0人	0人	0人	0人	0人
	辞退者数		1人	2人	1人	1人	1人	1人
	実人数	志願者数	3人	3人	2人	5人	5人	4人
		受験者数	3人	3人	2人	5人	5人	4人
		合格者数	3人	2人	2人	2人	3人	2人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	1人	2人	1人	1人	1人	1人
	入学者数	2人	0人	1人	1人	2人	1人	
	合 計	募集人数	115人	115人	115人	115人	115人	115人
		延べ人数	志願者数	3521人	3189人	2851人	2460人	3304人
受験者数			3454人	3114人	2790人	2385人	3241人	2997人
合格者数			356人	409人	442人	328人	394人	386人
うち追加合格者数			100人	160人	187人	122人	117人	137人
辞退者数			239人	293人	326人	212人	279人	270人
実人数		志願者数	3521人	3189人	2851人	2460人	3304人	3065人
		受験者数	3454人	3114人	2790人	2385人	3241人	2997人
		合格者数	356人	409人	442人	328人	394人	386人
		うち追加合格者数	100人	160人	187人	122人	117人	137人
		辞退者数	239人	293人	326人	212人	279人	270人
入学者数		117人	116人	116人	116人	115人	116人	

3. 入学定員充足率

	R2年度入学者	R3年度入学者	R4年度入学者	R5年度入学者	R6年度入学者	平均
入学定員	115人	115人	115人	115人	115人	115
入学定員充足率	1.02	1.01	1.01	1.01	1.00	1.01
歩留率	0.33	0.28	0.26	0.35	0.29	0.30

（備考）特記事項がある場合は記載すること。
 ※令和2年度まではセンター利用

【資料 7】

学生募集のための PR 活動の 過去の実績

①募集を行った学科等名称及び取組の名称：愛知医科大学医学部オープンキャンパス

	R5年度入試	R6年度入試	取組概要と入学者数等に関する分析
参加者等総数(a)	609人	1384人	①取組概要 主に高校生等の受験希望者を対象としてキャンパスを開放し、直近のオープンキャンパスでは、本学医学部の特色や入試制度の説明、模擬授業、教員・在学生との個別相談、実習体験、施設案内等を実施。 R5年度入試対象：R2～R4実施分、R6年度入試対象：R3～R5実施分 【参加人数】R2：112名（WEB開催）R3：312名（WEB開催）R4：185名（定員制・予約制）R5：887名 ②過去の取組実績を踏まえた新設組織の入学者数の見込みに関する分析 受験対象者数のうち、6割以上が実際に受験をしている。「オープンキャンパス」参加者の志願率は他の接触媒体と比較して非常に高いことから、今後も「オープンキャンパス」の参加者数を増加させることで志願者数及び入学者数の確保につながると考えられる。2024年に実施したオープンキャンパスでは1,024名の参加があり、昨年度以上の参加者数（2023年は887名）を達成することができたため、今後も安定した入学者数が見込まれる。
うち受験対象者数(b)	199人	311人	
うち受験者数(c)	143人	217人	
うち入学者数(d)	22人	20人	
(受験率 c/b)	71.9%	69.8%	
(入学率 d/b)	11.1%	6.4%	

②募集を行った学科等名称及び取組の名称：愛知医科大学公式ホームページ

	R5年度入試	R6年度入試	取組概要と入学者数等に関する分析
参加者等総数(a)	-	-	①取組概要 公式ホームページでは、最新の入試情報やイベント情報に加え、入試ガイド、学生募集要項、学部案内のデジタル版の掲載を行っており、進学相談会への参加や資料請求に至っていない受験生に対しても広く情報を提供するよう努めている。また、Web上のネットワーク等のログ情報を活用し、本学ホームページの入試情報ページへの訪問者が他のウェブサイトを訪れた際に、当該サイトの広告欄に本学ホームページにリンクするバナー広告を配信し、そのトップページに表示することにより本学の入試情報ページへの再訪問者を獲得することで認知度の向上に繋げ、平成30年度入試から導入した「インターネット出願」の出願登録ページへの誘導を促し出願者数の増加を図っている。 ②過去の取組実績を踏まえた新設組織の入学者数の見込みに関する分析 当該受験率は5割以上であり、①オープンキャンパス同様、他の接触媒体と比較して非常に高いことから、今後も引き続き取組を行うとともに、昨年度より新たに開始したSNS等の各種ツールを活用してホームページへの誘導を積極的に図ることで、安定した志願者数及び入学者数の確保が見込まれる。
うち受験対象者数(b)	369人	494人	
うち受験者数(c)	186人	283人	
うち入学者数(d)	11人	16人	
(受験率 c/b)	50.4%	57.3%	
(入学率 d/b)	3.0%	3.2%	

③募集を行った学科等名称及び取組の名称：愛知医科大学医学部の進学情報誌への掲載

	R5年度入試	R6年度入試	取組概要と入学者数等に関する分析
参加者等総数(a)			①取組概要 ②過去の取組実績を踏まえた新設組織の入学者数の見込みに関する分析 ※入学率等を用いて、本取組に関する参加者等総数の見込みから予想される入学者の人数を分析してください。
うち受験対象者数(b)			
うち受験者数(c)			
うち入学者数(d)			
(受験率 c/b)	#DIV/0!	#DIV/0!	
(入学率 d/b)	#DIV/0!	#DIV/0!	

④募集を行った学科等名称及び取組の名称：

	R5年度入試	R6年度入試	取組概要と入学者数等に関する分析
参加者等総数(a)			①取組概要 ②過去の取組実績を踏まえた新設組織の入学者数の見込みに関する分析 ※入学率等を用いて、本取組に関する参加者等総数の見込みから予想される入学者の人数を分析してください。
うち受験対象者数(b)			
うち受験者数(c)			
うち入学者数(d)			
(受験率 c/b)	#DIV/0!	#DIV/0!	
(入学率 d/b)	#DIV/0!	#DIV/0!	

⑤募集を行った学科等名称及び取組の名称：

	R5年度入試	R6年度入試	取組概要と入学者数等に関する分析
参加者等総数(a)			①取組概要 ②過去の取組実績を踏まえた新設組織の入学者数の見込みに関する分析 ※入学率等を用いて、本取組に関する参加者等総数の見込みから予想される入学者の人数を分析してください。
うち受験対象者数(b)			
うち受験者数(c)			
うち入学者数(d)			
(受験率 c/b)	#DIV/0!	#DIV/0!	
(入学率 d/b)	#DIV/0!	#DIV/0!	

【資料 8】

競合校の入学志願状況

●藤田医科大学

募集区分	2022年度				2023年度				2024年度									
	ふじた未来高 3校	ふじた未来高 卒校	一般(前期) 78名 (地域枠5名を含む)	一般(後期) 15名 (愛知県地域枠5名を含む)	共通テスト利用(前期) 10名	共通テスト利用(後期) 5名	ふじた未来高 3校	ふじた未来専 願校	一般(前期) 83名 (地域枠5名を含む)	一般(後期) 10名 (愛知県地域枠5名を含む)	共通テスト利用(前期) 10名	共通テスト利用(後期) 5名	ふじた未来高 3校	ふじた未来独 創一理校	一般(前期) 83名 (地域枠5名を含む)	一般(後期) 10名 (愛知県地域枠5名を含む)	共通テスト利用(前期) 10名	共通テスト利用(後期) 5名
志願者	95	95	1746	605	500	67	96	71	1747	581	702	104	120	25	1963	644	671	67
受験者	95	95	1681	549	495	67	94	71	1673	517	699	103	120	25	1766	576	668	67
最終合格者	12	7	318	25	47	12	13	4	270	15	48	8	13	3	279	12	118	6
入学者 総数	120																	

●名古屋大学

募集区分	2022年度			2023年度			2024年度		
	前期 一般	後期 (地域医療 枠)	推薦	前期 一般枠	地域枠 推薦	後期 推薦	前期 一般枠	地域枠 推薦	後期 推薦
募集人員	90	12	12	85	5	12	85	5	12
志願者	150	17	38	227	23	31	254	14	44
受験者	130	17	8	204	20	20	227	14	20
合格者	95	12	5	89	5	12	90	5	12
入学者 総数	112								
	109								
	112								

●名古屋市立大学

募集区分	2022年度			2023年度			2024年度		
	中前期	高大接続 推薦	地域枠推薦	中前期	高大接続 推薦	地域枠推薦	中前期	高大接続 推薦	地域枠推薦
募集人員	27	3	7	60	27	3	60	27	3
志願者	63	5	20	164	85	5	198	75	6
2次試験受験者	32	4	11	126	51	3	165	46	4
合格者(追加合格者)	25	3	7	64	27	3	61	27	3
入学者	25	3	7	62	27	3	60	27	3
入学者 総数	97								
	97								

【資料 9】

平成 30 年度～令和 6 年度 入学者選抜の状況

平成29～令和6年度医療系部入学者選抜の状況

募集区分	平成29年度				平成30年度				平成31年度				令和2年度				令和3年度				令和4年度																											
	センター 一般	センター 一般 (前期)	センター 一般 (後期)	センター 一般 (後期)																																												
募集人員	約15名	約15名	約15名	約15名																																												
志願者	1,976	877	156	2	15	34	2,282	966	69	106	1	36	316	2,300	955	68	88	3	14	33	2,244	713	63	106	3	25	35	2,040	603	57	96	2	12	41	1,392	899	116	79	5	12	47	2,232	872	77	84	5	13	41
受験者	1,875	868	155	2	15	34	2,314	954	67	106	1	35	316	2,304	947	65	88	3	14	33	2,179	705	62	105	3	25	35	1,989	594	57	95	2	12	41	1,327	803	114	77	5	12	47	2,157	866	76	83	5	13	41
合格者	218	43	25	1	5	10	301	91	11	20	1	5	13	242	61	10	20	3	5	15	275	81	13	20	2	5	13	325	60	8	20	2	2	25	219	64	7	20	2	4	12	305	46	5	20	3	5	10
入学者	65	16	25	0	5	5	65	15	5	20	2	5	5	65	15	5	20	0	5	5	66	15	5	20	1	2	8	63	16	6	20	1	2	8	65	15	5	20	1	4	6	64	15	4	20	2	5	5
入学者 総数	116				116				116				116				116				116				116				115																			

※平成27年度入試における学士編入の人数は、一般の外数を示す。

※平成29年度以降以降の推薦入試の推薦人数は国際バカロレア入試者を含む。

【資料 10】

人材需要に関する調査等

出典：医師臨床研修マッチング協会
「研修医マッチングの結果」(2021～2023)

	令和3年度		令和4年度		令和5年度	
	募集定員	マッチ者数	募集定員	マッチ者数	募集定員	マッチ者数
愛知県	554	510	561	519	570	538
都道府県全体	10,904	8,958	10,844	8,995	10,895	8,968

※厚生労働省ホームページ掲載の医師臨床研修マッチング結果より作成

教員名簿〔学長の氏名等〕

教 員 名 簿

学 長		又	は	校 長	の	氏 名	等
調書 番号	役職名	フリガナ 氏名 <就任(予定)年月>	年齢	保有 学位等	月額基本給 (千円)	現 職 (就任年月)	
—	学長	リアゲン 祖父江 元 <令和6年4月>		医学博士		愛知医科大学学長 (令和6.4～令和8.3)	